

2024年2月新聞書評に掲載された本



きらん風月

永井 紗耶子 著

講談社

絵も歌も戯作もこなし、「尼子十勇士」を世に知らしめた栗杖亭鬼卯。寛政の改革で一度は天下人となった元老中・松平定信。鬼卯の昔語りは、やがて定信の半生をも照らし、大きな決意を促して…。『産経新聞』連載を単行本化。

産経新聞 2024/02/04

2024:1./ 314p

978-4-06-533819-3

¥1,980〔税込〕



9 784065 338193



自炊者になるための26週

三浦哲哉 著

朝日出版社

ささっと作って、この上なく幸福。「トーストを焼くだけ」からはじまる、日々の小さな創造行為。「ほぼ毎日キッチンに立つ」映画研究者による、26週の自炊メソッド。感覚を底上げする「名曲」のようなレシピ40以上を収録。

産経新聞 2024/02/04

2023:12./ 334p

978-4-255-01360-2

¥2,178〔税込〕



9 784255 013602



呪いを解く者

フランシス・ハーディング 著

東京創元社

<小さな仲間>という生き物がもたらす呪いが、人々に大きな影響を与えている国。呪いの糸をほどいて取り除くほどき屋の少年ケレンと、彼に助けられた少女ネットルは、呪いに悩む人々の依頼を解決しながら旅をするが…。

産経新聞 2024/02/04

2023:11./ 524p

978-4-488-01128-4

¥4,070〔税込〕



9 784488 011284

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2024年2月時点での税込み価格です。



安いニッポンからワーホリ!〜最低時給 2000 円の国で夢を見つけた若者たち
〜

上阪 徹 著

東洋経済新報社

ブルーベリー摘みアルバイトで月収 50 万円、介護アシスタントで月収 80 万円…。
今や、若者にとって「稼げる場」となっているワーキングホリデー制度。最低時給
2000 円のオーストラリアで暮らす若者たちのリアルを追う。

産経新聞 2024/02/04

2023:11./ 223p
978-4-492-22415-1

¥1,650〔税込〕



日本の動物絵画史(NHK 出版新書 713)

金子 信久 著

N H K 出版

日本にはなぜ多彩な動物絵画があるのか。日本人と動物のかかわりをたどるのみならず、「いかに描かれたか」という視点も交え、古代から近代までの数々の名作誕生の
秘密に迫る。80 点超のフルカラーの図版も収録。

産経新聞 2024/02/04、朝日新聞 2024/02/17

2024:1./ 286p
978-4-14-088713-4

¥1,485〔税込〕



ジェンダー・クライム

天童 荒太 著

文藝春秋

土手下に転がされていた男性の遺体。暴行の痕が残る体には、メッセージが残されていた。「目には目を」なんと男の息子は、3 年前に起きた集団レイプ事件の加害者
だった…。『オール讀物』連載に加筆、修正。

産経新聞 2024/02/04、毎日新聞 2024/02/04

2024:1./ 327p
978-4-16-391794-8

¥1,870〔税込〕



推理の時間です

法月 綸太郎／方丈 貴恵／我孫子 武丸／田中 啓文／北山 猛邦／伊吹 亜門 著
講談社

あなたにはこの謎が解けるか!? 法月綸太郎、方丈貴恵、我孫子武丸、田中啓文、北
山猛邦、伊吹亜門がフーダニット・ホワイダニット・ハウダニットの魅力的な謎を提示
する読者への挑戦状。解答編の袋とじ約 130p あり。

産経新聞 2024/02/11

2024:1./ 389p
978-4-06-534210-7

¥2,090〔税込〕



**古代アメリカ文明〜マヤ・アステカ・ナスカ・インカの実像〜(講談社現代
新書 2729)**

青山 和夫／井上 幸孝／坂井 正人／大平 秀一 著

講談社

欧米には存在しない「世界四大文明」史観、アステカ王国「生贄」の虚像、「ワロチ
リ文書」が語るアンデス先住民の精神世界…。最新の知見をもとに「常識」のウソを
明らかにし、文明が生まれる条件を考察する。

産経新聞 2024/02/11

2023:12./ 317p
978-4-06-534280-0

¥1,320〔税込〕





ジョニ黒

永井 みみ 著
集英社

4年前、海水浴中にはぐれてしまった父さんは今もまだ帰ってこない。あれ以来、母親は時々どっかから拾ったオスをつれてくるようになった。日出男はその「オス犬」の1人だった。『すばる』掲載を単行本化。

産経新聞 2024/02/11

2023:11./ 170p
978-4-08-771853-9

¥1,760〔税込〕



成瀬は信じた道をいく

宮島 未奈 著
新潮社

知らぬ間に多くの人に影響を与えながら、我が道を突き進む成瀬あかり。幼馴染の島崎が故郷に帰ると、成瀬が書置きを残して失踪しており...!? 「成瀬は天下を取りにいく」の続編。『小説新潮』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

産経新聞 2024/02/11

2024:1./ 199p
978-4-10-354952-9

¥1,760〔税込〕



50歳からの読書案内

中央公論新社 編
中央公論新社

50歳は「人生100年時代」の折り返し地点。後半戦をどう生きるか考えるとき、ヒントとなり支えにもなる本とは。各界の著名人が50歳以降も読み続け、読み返す座右の書50冊を紹介。『婦人公論.jp』連載を単行本化。

産経新聞 2024/02/11

2024:1./ 227p
978-4-12-005736-6

¥1,650〔税込〕



晩酌の誕生(ちくま学芸文庫 イ54-4)

飯野 亮一 著
筑摩書房

今の日本人が家飲みを好むのは、江戸時代からの晩酌文化を受け継いでいるから？肴は現代と変わらぬ多彩さで、江戸の町では振り売りから肴や爛酒を入手できた。驚くほど豊かだった日本人の家飲みの歴史を挿絵を交えて繙く。

産経新聞 2024/02/11

2023:11./ 375p
978-4-480-51216-1

¥1,430〔税込〕



鳥瞰ノート～歌集～

山口 青 著
短歌研究社

いってきますと二回言われて気になって気をつけてねともう一度言う お日さまの席に私は先に着くひざに陽は来てなおひとりなり 2012年から2022年まで、主に『未来』誌に掲載された中から375首を収録する第1歌集。

産経新聞 2024/02/11

2024:1./ 238p
978-4-86272-757-2

¥2,750〔税込〕





沼の夢

工藤 吉生 著

左右社

怪獣がいたら折りたくなりそうな鉄塔きょうも折られていない 明日こそ休みだからと飛び上がりあさって仕事だからと着地 みずうみにむらさきの雲がうつりこむ風景 ゆびでなぞれば保存 歌集。

産経新聞 2024/02/11

2024:2./ 182p

978-4-86528-404-1

¥1,980〔税込〕



情報戦、心理戦、そして認知戦〜サイバーセキュリティを強化する〜

佐藤 雅俊／上田 篤盛 著

並木書房

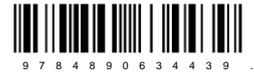
インターネットの普及により、「認知戦」は世界の深刻な脅威となっている。主要な戦争の歴史を情報戦、心理戦、そして認知戦から読み解き、情報をめぐる戦いがどのように発展したか、日本はどう対処すべきかを明らかにする。

産経新聞 2024/02/11

2023:12./ 399p

978-4-89063-443-9

¥2,420〔税込〕



猿の戴冠式

小砂川 チト 著

講談社

ある事件以降、引きこもっていたしふみは、テレビの中に「おねえちゃん」を見つけ 動植物園へ向かう。言葉を機械学習させられた類人猿ポノポの“シネノ”と邂逅し、魂をシンクロさせ、交歓していき…。『群像』掲載に加筆修正。

産経新聞 2024/02/18

2024:1./ 140p

978-4-06-534695-2

¥1,760〔税込〕



ハクビシンの不思議〜どこから来て、どこへ行くのか〜

増田 隆一 著

東京大学出版会

なんとなく近くにいるのに、何者なのかはよくわからないハクビシン。彼らはどんな動物で、いつから日本に分布しているのか？ さまざまな動物たちの由来を解き明かしてきた動物学者が、ミステリアスな生きものの謎を追う。

産経新聞 2024/02/18

2024:1./ 123p

978-4-13-063958-3

¥3,300〔税込〕



ツレが「ひと」ではなかった〜異類婚姻譚案内〜

川森博司 著

淡交社

「ひと」と「ひと以外(動物・異人・他界の者)」が婚姻を結ぶ説話「異類婚姻譚」は昔話としても親しまれてきた。出会いと別れ、排除、殺意、秩序、利益。様々なテーマに彩られた異類婚の世界を紹介する。

産経新聞 2024/02/18

2023:11./ 223p

978-4-473-04571-3

¥2,310〔税込〕





つかこうへい正伝<2> 1982-1987 知られざる日々

長谷川 康夫 著
大和書房

1982年の劇団解散から、89年の「演劇活動再開」までの空白の期間、最もつかこうへいと行動を共にしていた著者が、80年代のつかの姿を生き活きと描き出す。風間杜夫・平田満との座談会、長女・愛原実花との対談も収録。

産経新聞 2024/02/18

2024:1./ 397p
978-4-479-39418-1

¥3,300〔税込〕



9 78 44 79 39 41 81



ドイツ・ヴァンパイア怪縁奇談集(ルリユール叢書)

森口大地 編

カール・シュピンドラー、ゴットフリート・ペーター・ラウシュニク、ルドルフ・ヒルシュ、エルンスト・ラウパッハ、ヨーゼフ・リッター・ヴィーザー・フォン・メレンハイム、フランツ・ゼーラフ・クリスマー 著

幻戯書房

ドイツ・ヴァンパイア文学の傑作短編集。ラウパッハ「死者を起こすなかれ」、シュピンドラー「ヴァンパイアの花嫁」など、1820～30年代に発表された、本邦初訳の全7篇を収録。ヴァンパイア学者である編訳者の解題付き。

産経新聞 2024/02/18

2024:2./ 458p
978-4-86488-292-7

¥4,620〔税込〕



9 78 48 64 88 29 27



セカンドキャリア～引退競走馬をめぐる旅～

片野 ゆか 著
集英社

レースで走る馬たちは、この後どこへ行くのだろうか...? 競馬業界の未来と社会をつなぐプロジェクトが動き出す! 馬を愛してやまない人々の活動現場に迫ったルポルタージュ。『青春と読書』連載を加筆・修正。

産経新聞 2024/02/25

2023:12./ 313p
978-4-08-771854-6

¥2,200〔税込〕



9 78 40 87 71 85 46



生き物の「居場所」はどう決まるか～攻める、逃げる、生き残るためのすごい知恵～(中公新書 2788)

大崎直太 著
中央公論新社

ウナギは川底の穴、モンシロチョウはキャベツ畑...。生き物の居場所=ニッチは、なぜそこに決まっているのか。彼らの巧妙な生き方から、天敵不在と繁殖干渉という、生態学の核心的概念を紹介する。

産経新聞 2024/02/25

2024:1./ 5p,282p
978-4-12-102788-7

¥1,155〔税込〕



9 78 41 21 02 78 87



無間繚乱

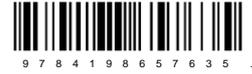
秋山香乃 著
徳間書店

死ぬ間際に一条帝が呼びかけた「君」とは、だれなのだろうか。明るく聡明で美しい定子。内気ながら慈愛に満ちた彰子。一条天皇をめぐるふたりの後の愛憎を描いた書下し長編平安絵巻。

産経新聞 2024/02/25

2024:1./ 445p
978-4-19-865763-5

¥2,640 [税込]



湖畔地図製作社

長野まゆみ 著
国書刊行会

湖をわたって異世界へ。雨、波紋、等高線、球体、大航海時代。博物学的指向をともにするふたりが響きあう、摩訶不思議な書物。桑原弘明のスコープオブジェ×長野まゆみの短篇小説。

産経新聞 2024/02/25

2023:12./ 121p
978-4-336-07581-9

¥2,970 [税込]



旅する練習(講談社文庫の20-4)

乗代 雄介 著
講談社

中学入学を前にしたサッカー少女と、小説家の叔父。ふたりは、コロナ禍で予定がなくなった2020年の春休み、利根川沿いに徒歩で千葉の我孫子から鹿島アントラーズの本拠地を目指す旅に出て...

朝日新聞 2024/02/03

2024:1./ 205p
978-4-06-533843-8

¥704 [税込]



あっぱれ!日本の新発明~世界を変えるイノベーション~(ブルーボックス B-2252)

ブルーボックス探検隊/産業技術総合研究所 著
講談社

磁気で冷える冷蔵庫、300℃でもさわられる断熱レンガ、人の「感情」まで読み取る自動運転...。日本最大級の研究機関・産業技術総合研究所が誇る、世界の“標準”をくつがえず、驚きの最新研究を紹介する。

朝日新聞 2024/02/03

2024:1./ 222p
978-4-06-534693-8

¥1,210 [税込]



田園発港行き自転車<上>(集英社文庫み32-8)

宮本 輝 著
集英社

絵本作家の真帆の父は15年前、「出張で九州に行く」と言ったまま、富山で病死を遂げていた。わだかまりを胸に真帆は富山へ足を向ける。富山・京都・東京、三都市の家族の運命が交錯する物語。

朝日新聞 2024/02/03

2018:1./ 431p
978-4-08-745685-1

¥946 [税込]





田園発港行き自転車<下>(集英社文庫 み 32-9)

宮本 輝 著
集英社

東京の暮らしに疲れ、仕事を辞めて、故郷の富山に帰ってきた千春。親戚の中学生・佑樹と触れ合ううち、自分らしさを取り戻していく。富山・京都・東京、三都市の家族の運命が交錯する物語。

朝日新聞 2024/02/03

2018:1./ 432p
978-4-08-745686-8

¥946〔税込〕



長い道・同級会(P+D BOOKS)

柏原 兵三 著
小学館

太平洋戦争末期、都会からの疎開児への地元っ子の愛憎を中心に、戦争の影にゆれる海辺の村で繰り広げられる人間模様を描き、「少年時代」として漫画化、映画化された「長い道」を収録。その後日譚「同級会」も併録する。

朝日新聞 2024/02/03

2018:5./ 522p
978-4-09-352336-3

¥990〔税込〕



大コメ騒動～ノベライズ～(小学館文庫 と 11-1)

戸屋 まい 著
小学館

富山の貧しい漁師町で暮らす松浦いとは、米俵を船まで運び入れ、日当を受け取っていた。しかし、米の価格はどんどん高騰し、日々の暮らしに困るようになり…。米騒動を描いた 2021 年公開の同名映画をノベライズ。

朝日新聞 2024/02/03

2020:11./ 254p
978-4-09-406837-5

¥682〔税込〕



アンソージャルディスタンス(新潮文庫 か-54-5)

金原 ひとみ 著
新潮社

年下彼氏の若さに当てられ、整形へ走る女。彼氏を心中に誘う女。恋人と会えない孤独な日々で、性欲や激辛欲が荒ぶる女-。絶望に溺れ、必死にもがく女性たちを鮮烈に描いた短編集。全 5 編を収録する。

朝日新聞 2024/02/03

2024:2./ 362p
978-4-10-131335-1

¥781〔税込〕



評伝クリスチャン・ラッセン～日本に愛された画家～

原田裕規 著
中央公論新社

イルカ等をモチーフにしたリアルな絵で、90 年代以降、日本に愛されてきた画家、クリスチャン・ラッセン。関係者にタブー視される一方で、日本美術史の“特異点”ともいえる存在の謎を気鋭のアーティストが解き明かす評伝。

朝日新聞 2024/02/03

2023:12./ 381p
978-4-12-005724-3

¥3,300〔税込〕





技術革新と不平等の1000年史<上>

ダロン・アセモグル／サイモン・ジョンソン 著

早川書房

農法改良から産業革命、人工知能の進化まで。技術革新がどのような状況下で限られた社会エリート層にしか利益をもたらさなかったのか、もしくは、どのような状況下で広く繁栄をもたらしたのか、歴史を通じて明らかにする。

朝日新聞 2024/02/03

2023:12./ 326p
978-4-15-210294-2

¥3,300〔税込〕



技術革新と不平等の1000年史<下>

ダロン・アセモグル／サイモン・ジョンソン 著

早川書房

農法改良から産業革命、人工知能の進化まで。技術革新がどのような状況下で限られた社会エリート層にしか利益をもたらさなかったのか、もしくは、どのような状況下で広く繁栄をもたらしたのか、歴史を通じて明らかにする。

朝日新聞 2024/02/03

2023:12./ 372p
978-4-15-210295-9

¥3,300〔税込〕



八月の御所グラウンド

万城目 学 著

文藝春秋

大学生・朽木は、借金のカタに、早朝の御所 G(グラウンド)で謎の草野球大会、たまひで杯に参加する羽目になり…。表題作など、人生の愛しくほろ苦い味わいを綴る全2篇を収録する。『オール讀物』掲載を改題し単行本化。

朝日新聞 2024/02/03

2023:8./ 204p
978-4-16-391732-0

¥1,760〔税込〕



教養の人類史〜ヒトは何を考えてきたか?〜(文春新書 1431)

水谷 千秋 著

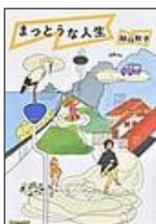
文藝春秋

「自分が知りたい」から学ぶ。そうして得られた教養は、人生に豊かさと深みを与えてくれる。人類の誕生から現在までの歩みをふり返り、壮大な“知の探究”へと誘う。堺女子短期大学での講義をもとに書籍化。

朝日新聞 2024/02/03

2023:10./ 316p
978-4-16-661431-8

¥1,320〔税込〕



まっとうな人生

絲山 秋子 著

河出書房新社

名古屋出身の「なごやん」と繰り広げた九州縦断の脱走劇から十数年後、富山県でなごやんと偶然再会した「花ちゃん」。富山県を舞台に新たな冒険が幕を開ける! 「逃亡くそたわけ」の続編。『文藝』掲載を単行本化。

朝日新聞 2024/02/03

2022:5./ 251p
978-4-309-03036-4

¥1,892〔税込〕





コロナと潜水服(光文社文庫 お36-5)

奥田英朗 著
光文社

5歳の息子には、新型コロナウイルスを感知する能力がある？ パパがとった究極の対応策とは…。表題作をはじめ、“ささやかな奇跡”に人生が愛おしくなる全5作を収録する。作中の登場曲が楽しめるQRコード付き。

朝日新聞 2024/02/03

2023:12./ 275p
978-4-334-10154-1

¥770〔税込〕



9 78 4334 10154 1

江戸川乱歩全集<第5巻> 押絵と旅する男(光文社文庫)

江戸川 乱歩 著
光文社

朝日新聞 2024/02/03

2005:1./ 672p
978-4-334-73820-4

¥1,408〔税込〕



9 78 4334 73820 4



「家庭」の誕生〜理想と現実の歴史を追う〜(ちくま新書 1760)

本多 真隆 著
筑摩書房

「家庭」には、リベラル、保守、それぞれの理想が託されてきたが、一方でその理想と現実には様々な乖離があった。明治から現代まで、それらをめぐる錯綜した議論をときほぐすことで、近現代日本の新たな一面に光をあてる。

朝日新聞 2024/02/03

2023:11./ 382p
978-4-480-07590-1

¥1,320〔税込〕



9 78 4480 07590 1



ノラの家 1(ヤングアニマルコミックス)

夕海 著
白泉社

被害者と加害者、ともに社会に居場所を失った“ひとり”が集まるとき、止まっていた時間が再び動き出す。喪失と再生のマイホームドラマ。

朝日新聞 2024/02/03

2023:12./ 192p
978-4-592-16398-5

¥715〔税込〕



9 78 4592 16398 5



フォルモサ・イデオロギー〜台湾ナショナリズムの勃興 1895-1945〜

呉叡人 著
みすず書房

日清戦争後、51年にわたり日本の植民地支配下に置かれた台湾。その<東洋の植民地主義>の下で、台湾人はいかにして自らをネーションの政治的形式を想像し、そこに文化的内容を付与していったのか。その葛藤的過程を描く。

朝日新聞 2024/02/03

2023:10./ 536p
978-4-622-09649-8

¥6,050〔税込〕



9 78 4622 09649 8

黒部の太陽

木本 正次 著
信濃毎日新聞社

朝日新聞 2024/02/03

1992:7./ 369p
978-4-7840-9216-1

¥880〔税込〕



9 78 4784 09216 1



岸

赤々舎

水辺の旅の写真、潮間帯に生きる架空の生物の話、水中から攫いにくる何者かとの会話、海水や霰で腐蝕させた写真で構成された、清水裕貴の写真集。風景に蓄積された過去、他者の声に耳を澄ます装置としての写真の可能性を探る。

朝日新聞 2024/02/03

2023:12./ 136p,16p
978-4-86541-178-2

¥5,500〔税込〕



カワセミ都市トーキョー～「幻の鳥」はなぜ高級住宅街で暮らすのか～(平凡社新書 1049)

柳瀬 博一 著

平凡社

一度東京から消えた“清流の宝石”=カワセミが都内の超一等地を選んで子育てするようになった理由とは？ ヒトもカワセミも大好きな地形「小流域源流」をカギに、カワセミがなぜ人工都市東京に戻ってきたのかを解き明かす。

朝日新聞 2024/02/03、東京・中日新聞 2024/02/25

2024:1./ 302p
978-4-582-86049-8

¥1,210〔税込〕



パレスチナ戦争～入植者植民地主義と抵抗の百年史～(サピエンティア 71)

ラシード・ハーリディー 著

法政大学出版局

アラファートらと親交のあったパレスチナ研究大家が、膨大なインタビューと、確かな知識に基づく歴史叙述をベースに、娘を抱えて逃げた自身の経験などを織り交ぜながら、強大な権力に翻弄されてきた民族の一世紀を描き出す。

朝日新聞 2024/02/03、読売新聞 2024/02/04

2023:12./ 406p
978-4-588-60371-6

¥3,960〔税込〕



日本史を支えてきた和紙の話

朽見 行雄 著

草思社

和紙は単なるモノではなく、日本人の心情に訴える精神性をも備え、国家経営から芸術、日常生活への寄与まで、驚くほど広範に能力を発揮した。黒子として歴史を生きてきた和紙に光を当て、日本史を読み直す。

朝日新聞 2024/02/03、読売新聞 2024/02/18

2023:10./ 271p
978-4-7942-2679-2

¥2,090〔税込〕



とるにたらない美術～ラッセン、心霊写真、レンダリング・ポルノ～

原田 裕規 著

クラーケンラボ

クリスチャン・ラッセン、心霊写真、アンリアルな風景、バルテュス、無美術館主義…。従来の美術の枠組みの外に置かれてきた数々の作品や事象を取り上げて丹念に論じ、美術とは何かを問う。

朝日新聞 2024/02/03、日本経済新聞 2024/02/10

2023:11./ 349p
978-4-910315-31-7

¥2,860〔税込〕





東京都同情塔

九段 理江 著
新潮社

寛容論が浸透したもう一つの日本で、新しい刑務所が建てられることに。犯罪者に寛容になれない建築家・牧名沙羅は、仕事と信条の乖離に苦悩しながら、パワフルに未来を追求し…。『新潮』掲載を単行本化。

2024:1./ 143p
978-4-10-355511-7

¥1,870〔税込〕



朝日新聞 2024/02/03、日本経済新聞 2024/02/17、産経新聞 2024/02/25



余白と照応～李禹煥ノート～

田中 爲芳 編
酒井 忠康 著
平凡社

現代アートの旗手、李禹煥。友人であり、作家とキュレーターという関係で活躍を支えあってきた著者が、知られざる作家の素顔を描く。個展の図録に付した文などを年代順にまとめ、李禹煥の詩人としての資質にも触れる。

2023:11./ 190p
978-4-582-20734-7

¥3,630〔税込〕



朝日新聞 2024/02/03、毎日新聞 2024/02/03



感染症の歴史学(岩波新書 新赤版 2004)

飯島 渉 著
岩波書店

パンデミックは世界を変えたのか。最新の知見をふまえて、天然痘、ペスト、マラリアの歴史を振り返り、ポスト・コロナ社会への教訓を探る。パンデミックの記録と記憶を掘り起こし、未来を考えるための疫病史入門。

2024:1./ 228p
978-4-00-432004-3

¥946〔税込〕



朝日新聞 2024/02/10



台湾の歴史(講談社学術文庫 2795)

若林 正文 著
講談社

経済発展と民主化を達成し、ますます存在感を高めている「台湾」は、どんな歴史を歩み、どこへ向かうのか。17世紀のオランダ統治から現代まで、日本人が知らなすぎる“麗しの島”の濃密な歴史を綴る。

2023:12./ 293p
978-4-06-534032-5

¥1,265〔税込〕



朝日新聞 2024/02/10



奇譚蒐集録 鉄環の娘と来訪神(新潮文庫 nex し-85-3)

清水 朔 著
新潮社

大正3年。帝大講師の南辺田と書生の山内は、信州・諏訪大社の神域の山で禁足地を犯し、12年に1度の奇祭が執り行われる山奥の秘村に“来訪神”として囚われ…。鉄環の謎と因習の裏に秘められた真実を暴く民俗学ミステリ。

2023:12./ 310p
978-4-10-180275-6

¥737〔税込〕



朝日新聞 2024/02/10



風に立つ

袖月裕子 著
中央公論新社

家庭裁判所に送られてきた少年を預かる補導委託の引受を突然申し出た、南部鉄器職人の父・孝雄。父の行動に戸惑う悟。少年と工房で共に働くうち、悟の心にも少しずつ変化が訪れて…。『読売新聞』連載を単行本化。

朝日新聞 2024/02/10

2024:1./ 406p
978-4-12-005728-1

¥1,980〔税込〕



在日米軍基地～米軍と国連軍、「2つの顔」の80年史～(中公新書 2789)

川名晋史 著
中央公論新社

占領期から朝鮮戦争、安保改定、沖縄返還、冷戦終結、普天間移設問題まで、在日米軍基地と日米関係の軌跡を新発見の史料をふまえて論考。特異な実態を解明し、戦後史を描き直す。

朝日新聞 2024/02/10

2024:1./ 5p,331p
978-4-12-102789-4

¥1,210〔税込〕



聖乳歯の迷宮(文春文庫 も 36-1)

本岡 類 著
文藝春秋

イスラエルで発掘された<キリストの乳歯>からホモサピエンスとは異なる DNA が検出され、人ならぬ神の実在が証明されたとして、世界中で宗教ブームが沸き起こる。一方、東京の南にある青ヶ島では不可解な事件が起こり…。

朝日新聞 2024/02/10

2023:11./ 381p
978-4-16-792129-3

¥990〔税込〕



おわりのそこみえ

凶野 象 著
河出書房新社

美帆、25歳。スマホで消費者金融のアプリとマッチングアプリを交互に見る生活を送る、買い物依存で性依存。地獄へと爆進する美帆と、全員が常識外れの登場人物たちを、軽やかな文体で活写する。『文藝』掲載を書籍化。

朝日新聞 2024/02/10

2023:11./ 173p
978-4-309-03161-3

¥1,540〔税込〕



人種差別主義者たちの思考法～黒人差別の正当化とアメリカの400年～

イブラム・X・ケンディ 著
光文社

黒人はいかなる論理で「劣った人種」とされてきたのか。著名な学者・哲学者の理論から、政治家の言動、そして一般大衆や黒人自身までを対象として、複雑に絡み合うアメリカの「人種差別思想」の歴史を描く。

朝日新聞 2024/02/10

2023:11./ 661p
978-4-334-10103-9

¥5,500〔税込〕





週末は、おくのほそ道。(双葉文庫 お-41-02)

大橋崇行 著
双葉社

高校時代、ともに俳句甲子園に出場した友人・空と 30 歳になって SNS で再会した美穂。ふたりは週末ごとに松尾芭蕉たちが辿った地を旅することに…。古人の足跡を辿りながら「今」を生き直す女性たちの物語。

朝日新聞 2024/02/10

2023:11./ 285p
978-4-575-52708-7

¥792〔税込〕



色の秘めたる歴史～75色の物語～

カシア・セントクレア 著
パイインターナショナル

フェルメールの贋作を露見させたコバルト・ブルー、パンクの同義語になった蛍光ピンク、軍事戦略を変えたカーキ…。アートやファッション、流行色などの文化史から、化学や政治的なトピックまで幅広く取り上げた色彩エッセイ。

朝日新聞 2024/02/10

2023:10./ 320p
978-4-7562-5695-9

¥2,530〔税込〕



人物から読む幕末史の最前線(インターナショナル新書 132)

町田 明広 著
集英社インターナショナル

合理的思考の徳川慶喜、政治の舞台を京都へと変えた島津久光、キャリアのために日本を開国させたいペリー…。黒船から開国・討幕までの激動の 15 年間で、さまざまな立場の 11 人から読み解く。『JBpress』連載を改稿。

朝日新聞 2024/02/10

2023:12./ 253p
978-4-7976-8132-1

¥1,012〔税込〕



緊迫化する台湾海峡情勢～台湾の動向二〇一九～二〇二一年～

門間 理良 著
東信堂

かつてないほどの大波が押し寄せている台湾海峡。2019～2021 年の台湾情勢を中台関係・内政・外交・軍事・日台関係に分けて時系列的に分析し、台湾海峡危機の事態推移を詳細に解説。前後の期間の動向も概観する。

朝日新聞 2024/02/10

2023:10./ 12p,356p
978-4-7989-1857-0

¥3,960〔税込〕



世界はラテン語でできている(SB新書 641)

ラテン語さん 著
SBクリエイティブ

メルカリ、ベネッセ、アシックスはラテン語由来!? 欧米の言語のみならず、現代日本にも強い影響を持つラテン語。ラテン語と人類、2000 年超の歩みを眺めながら、ラテン語の魅力を紹介する。ヤマザキマリとの対談も収録。

朝日新聞 2024/02/10

2024:1./ 214p
978-4-8156-2126-1

¥990〔税込〕





台湾りずむ～暮らしを旅する二十四節気～

栖来 ひかり 著

西日本出版社

台湾に季節はあるの？ 東方美人茶は偶然うまれた？ 台湾在住日本人作家が、台湾の自然風土、歴史文化、風習行事、人々のいまと素顔を、二十四節気を通して伝える。ウェブマガジン『ほんのひととき』連載を加筆し再構成。

朝日新聞 2024/02/10

2023:7./ 207p
978-4-908443-82-4

¥1,980〔税込〕



9 78 4 90844 3824



アイヌもやもや～見えない化されている「わたしたち」と、そこにふれてはいけない気がしてしまう「わたしたち」の。～

北原モコットゥナシ 著

303 BOOKS

教科書に載っているのは、伝統的な衣装をまとった姿だけ。北海道を舞台にしたドラマにも出てこない。今を生きるアイヌの姿を、思い描くことはできるか？ アイヌをとりまく「もや」の正体を、漫画を交えながら徹底考察。

朝日新聞 2024/02/10

2023:12./ 179p
978-4-909926-29-6

¥1,760〔税込〕



9 78 4 90992 6296



ガーナ流家族のつくり方～世話する・される者たちの生活誌～

小佐野 アコシヤ有紀 著

東京外国語大学出版会

20歳の大学生だった私が留学先のガーナで出逢ったのは、血縁を超えた家族関係を結ぶ人々だった。“理想の家族像”を揺さぶられ続けるフィールドワークを瑞々しく書き綴った卒業制作を書籍化。

朝日新聞 2024/02/10

2023:12./ 254p
978-4-910635-08-8

¥2,420〔税込〕



9 78 4 91063 5088



ガザとは何か～パレスチナを知るための緊急講義～

岡 真理 著

大和書房

私たちが生きるこの同じ地上で今、ジェノサイドが進行している。ガザで何が、なぜ起きているのか。歴史的な文脈とポイントを平易に解説する「まずここから」の一冊。早稲田大学、京都大学の講義に加筆。

朝日新聞 2024/02/10、東京・中日新聞 2024/02/25

2023:12./ 204p
978-4-479-39420-4

¥1,540〔税込〕



9 78 4 47939 4204



台湾の本音～“隣国”を基礎から理解する～(光文社新書 1287)

野嶋剛 著

光文社

首都はどこ？ 親日である理由は？ 中国とはどういう関係？ 6つの問いを出発点に台湾を深掘りし、歴史や文化はもちろん、台湾の置かれている政治状況やその価値観、アイデンティティまでを丁寧な解説する。

朝日新聞 2024/02/10、毎日新聞 2024/02/10

2023:12./ 203p
978-4-334-10170-1

¥946〔税込〕



9 78 4 3341 01701



中原中也～沈黙の音楽～(岩波新書 新赤版 1673)

佐々木 幹郎 著

岩波書店

詩人であることの幸福と不幸。近代日本を代表する詩人・中原中也の、自らへの自負と揶揄、表現者としての存在の不安がみなぎる作品の数々は、どこからきたのか。詩人でもある著者が、新発見資料から作品誕生の瞬間を読み解く。

朝日新聞 2024/02/17

2017:8./ 298p
978-4-00-431673-2

¥990〔税込〕



9 78 4 00 4 3 1 6 7 3 2



豆腐の文化史(岩波新書 新赤版 1999)

原田 信男 著

岩波書店

昔から広く日本で愛されてきた豆腐。それはいつ、どこで誕生し、どのように受容されてきたのか。食文化史研究の第一人者が、文献史料の博捜に加え、日本各地をたずね歩き、豆腐の魅力を歴史的・文化的に描き出す。

朝日新聞 2024/02/17

2023:12./ 268p
978-4-00-431999-3

¥1,210〔税込〕



9 78 4 00 4 3 1 9 9 9 3



百人一首～編纂がひらく小宇宙～(岩波新書 新赤版 2006)

田淵 句美子 著

岩波書店

「百人一首」は、誰によって、何の目的で作られたのか。成立の背景やアンソロジーとしての特色を解きほぐし、中世から現代までの受容のあり方を考えることで、和歌のすべてを網羅しているかのような求心力の謎に迫る。

朝日新聞 2024/02/17

2024:1./ 262p
978-4-00-432006-7

¥968〔税込〕



9 78 4 00 4 3 2 0 0 6 7



寿町のひとびと(朝日文庫 や 39-3)

山田清機 著

朝日新聞出版

わずか 300m 四方ほどの区画の中に 120 軒ものドヤ(簡易宿泊所)が奔めく寿町。横浜の一等地にある「ハマのドヤ街」で足掛け 6 年取材した著者が、そこに生きるひとびとを描く。新話も収録。

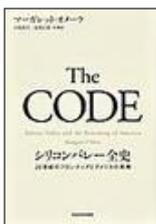
朝日新聞 2024/02/17

2024:1./ 413p
978-4-02-262088-0

¥1,155〔税込〕



9 78 4 02 2 6 2 0 8 8 0



The CODE～シリコンバレー全史～

マーガレット・オメーラ 著

KADOKAWA

シリコンバレーはどのように築かれ、アメリカのビッグ・テックはどう形作られたのか。そして、“次のシリコンバレー”は生まれるのか。5 年に及ぶ調査・取材で、70 年にわたるシリコンバレーの歴史を明らかにする。

朝日新聞 2024/02/17

2023:12./ 672p
978-4-04-113199-2

¥4,950〔税込〕



9 78 4 04 1 1 3 1 9 9 2



狼の義～新犬養木堂伝～(角川ソフィア文庫 M125-1)

堀川 恵子／林 新 著

KADOKAWA

日本に芽吹いた政党政治を守らんと、強権的な藩閥政治に抗し、腐敗した利権政治を指弾、増大する軍部と対峙し続け、5・15事件で凶弾に斃れた男・犬養木堂。政界の荒野を駆け抜けた孤狼の生涯を描く。

朝日新聞 2024/02/17

2024:1./ 605p
978-4-04-400765-2

¥1,760〔税込〕



疲労とはなにか～すべてはウイルスが知っていた～(ブルーバックス B-2248)

近藤 一博 著

講談社

うつ病も新型コロナ後遺症も、疲労とウイルスの問題だった! 注目の遺伝子「SITH-1」発見者が、疲労を科学的に解析し、疲労が生じるメカニズムやうつ病との密接な関わりなど、疲労の全体像を明らかにする。

朝日新聞 2024/02/17

2023:12./ 254p
978-4-06-534385-2

¥1,100〔税込〕



戦雲～要塞化する沖縄、島々の記録～(集英社新書 集英社新書ノンフィクション 1199)

三上 智恵 著

集英社

日米政府が主導する防衛計画のもと、民意を無視し急ピッチで進む沖縄・南西諸島要塞化。沖縄から日本全土に広がる戦雲の予兆に警鐘を鳴らす。『マガジン 9』連載をもとに書籍化。動画リポートが視聴できる QR コード付き。

朝日新聞 2024/02/17

2024:1./ 318p
978-4-08-721299-0

¥1,320〔税込〕



SSSS すぎむらしんいち短編集～シンイチスギムラズショートストーリーズ～(ビッグ コミックス)

すぎむら しんいち 著

小学館

各界から高い評価を得る漫画家・すぎむらしんいちが令和に贈るのは、「今こそ」渾身のショートストーリーズ!現代的でノスタルジック、デタラメで精緻、切ないのにフルスピード...漫画を濃縮した全7編のエンタテインメント、とくと御覧あれ!!!!

朝日新聞 2024/02/17

2024:1./ 224p
978-4-09-862673-1

¥889〔税込〕



素数の音楽(新潮文庫 シ-38-1)

マーカス・デュ・ソーテイ 著

新潮社

神秘的な謎に満ち幾多の天才数学家が心を虜にされた素数。リーマンの失われた黒いノートには果たして証明が書かれていたのか? 暗号技術における素数の役割とは? 豊富なエピソードとともに世紀の謎「リーマン予想」に挑む。

朝日新聞 2024/02/17

2013:10./ 622p
978-4-10-218421-9

¥1,045〔税込〕





カラマーゾフの兄弟<1>(光文社古典新訳文庫)

ドストエフスキー 著

光文社

世界の深みにずっと入り込める翻訳をめざして……。流れ、勢いこそ『カラマーゾフ』の神髄だ。自分の課題として受けとめた今回の亀山郁夫訳は、作者の壮絶な「二枚舌」を抽出する。

朝日新聞 2024/02/17

2006:9./ 443p
978-4-334-75106-7

¥796〔税込〕



まいまいつぶろ

村木 嵐 著

幻冬舎

口がまわらず、歩いた後には尿を引きずった跡が残るため、「まいまいつぶろ」と呼ばれ蔑まれた第9代将軍・徳川家重。麻痺を抱え廃嫡を噂されていた若君と、彼の言葉解する後ろ盾のない小姓、2人の孤独な闘いを描く。

朝日新聞 2024/02/17

2023:5./ 330p
978-4-344-04116-5

¥1,980〔税込〕



孤独死大国〜予備軍 1000万人時代のリアル〜(双葉文庫 か-63-01)

菅野久美子 著

双葉社

誰にも看取られずに亡くなり、死後しばらく発見されない孤独死。一人暮らしの高齢者だけが危ないのではない。若い世代にも、孤独死予備軍がいる! 壮絶なルポとともに、孤独死を防ぐためにはどうすればいいかを探る。

朝日新聞 2024/02/17

2024:2./ 256p
978-4-575-71502-6

¥770〔税込〕



うまくてダメな写真とへただけどいい写真

幡野 広志 著

ポプラ社

いい写真は誰でも撮れる! 写真を趣味ではじめる初心者に向け、写真家・幡野広志が、写真の勉強法から光と距離、写真の誤解、カメラの設定、現像までを解説する。人気ワークショップをベースに書籍化。

朝日新聞 2024/02/17

2023:11./ 271p
978-4-591-17930-7

¥1,650〔税込〕



私はかわいい、絶対かわいい。〜原田ちあき作品集〜

原田ちあき 著

玄光社

アーティストのグッズデザインやパッケージイラスト、ロゴデザインなどで知られるイラストレーター・漫画家原田ちあきの画集。ポップで毒々しい色彩が癖になるイラスト 160点以上と、描き下ろし漫画を収録。

朝日新聞 2024/02/17

2023:12./ 159p
978-4-7683-1563-7

¥2,640〔税込〕





常設展へ行こう!

奥野 武範 著

左右社

常設展の見方、作品の背景、収集の哲学…。全国12のミュージアムの「常設展」を取材。絵画や彫刻品などの所蔵作品について、各館の学芸員が初心者向けに懇切丁寧に解説する。『ほぼ日刊イトイ新聞』連載を単行本化。

朝日新聞 2024/02/17

2023:12./ 347p
978-4-86528-402-7

¥2,750〔税込〕



ソング&セルフ~音楽と演奏をめぐって歌手が考えていること~

イアン・ポストリッジ 著

アルテスパブリッシング

ジェンダー、人種、死。歌と自己が混じりあい、音楽は啓示となる。英国を代表するテノール歌手が、「冬の旅」「女の愛と生涯」「マダガスカル島民の歌」などの作品を考察し、音楽の“隠された歴史”にせまる。

朝日新聞 2024/02/17

2024:1./ 204p,10p
978-4-86559-288-7

¥2,860〔税込〕



おかしゅうて、やがてかなしき~映画監督・岡本喜八と戦中派の肖像~(集英社新書 集英社新書ノンフィクション 1198)

前田 啓介 著

集英社

戦中派の心情をそこかしこに込めた映画を撮り続けた職人肌の監督として知られる岡本喜八。新たに発掘された若き日の日記をひも解きつつ、その実像を通して戦中派の心情に迫るノンフィクション。

朝日新聞 2024/02/17、毎日新聞 2024/02/24

2024:1./ 404p
978-4-08-721298-3

¥1,485〔税込〕



ジャズピアノ~その歴史から聴き方まで~<上>

マイク・モラスキー 著

岩波書店

ピアノを手掛かりに、外国語文献を駆使して、全く新しい切り口からジャズの歴史をたどる。具体的な聴き処、鑑賞のヒントが満載。上は、「古い」ジャズの魅力から、ビバップ革命、クールジャズの誕生までを描く。

朝日新聞 2024/02/24

2023:10./ 392p
978-4-00-061612-6

¥4,510〔税込〕



ジャズピアノ~その歴史から聴き方まで~<下>

マイク・モラスキー 著

岩波書店

ピアノを手掛かりに、外国語文献を駆使して、全く新しい切り口からジャズの歴史をたどる。具体的な聴き処、鑑賞のヒントが満載。下は、ハードバップの展開から現在まで、多彩なピアニスト達のサウンドとともに解説する。

朝日新聞 2024/02/24

2023:11./ 452p
978-4-00-061613-3

¥5,060〔税込〕





ミヒヤエル・コールハース チリの地震～他一篇～(岩波文庫 32-416-6)

クライスト 著

岩波書店

領主の不正により飼い馬と妻を失った馬商人が、正義の回復を求め帝国をも巻き込む戦いを起こし…。「ミヒヤエル・コールハース」をはじめ、日常の崩壊とそこで露わになる人間の本性が、悲劇的運命へとなだれ込む3作品を収録。

朝日新聞 2024/02/24

2024:1./ 325p
978-4-00-324166-0

¥1,001〔税込〕



9 78 4 00 3 2 4 1 6 6 0



ケアの倫理～フェミニズムの政治思想～(岩波新書 新赤版 2001)

岡野 八代 著

岩波書店

ひとはケアなしでは生きていけない。ではケアをするのは誰なのか。男性の論理で構築された社会のなかで、女性たちが自らの声で語り、自らの経験から編み出したフェミニズムの政治思想、ケアの倫理を第一人者が詳説する。

朝日新聞 2024/02/24

2024:1./ 342p
978-4-00-432001-2

¥1,364〔税込〕



9 78 4 00 4 3 2 0 0 1 2



幻のレコード～検閲と発禁の「昭和」～

毛利 真人 著

講談社

文字は取り締まれても、音声に権力の網はかけられるのか。音声メディアにおいていまなお続く「指導」と「自主規制」の巧妙にして隠微な構造や、業界の自主規制の実態に迫る。

朝日新聞 2024/02/24

2023:10./ 365p
978-4-06-532257-4

¥2,310〔税込〕



9 78 4 06 5 3 2 2 5 7 4



ひげがながすぎるねこ(講談社の創作絵本)

北澤 平祐 著

講談社

ひげが長すぎるねこのみゃあ。ひげが長すぎるって、大変なことなんだ。いいことなんて、なにひとつない。でも不平だらけのみゃあの毎日にひそんでいたのは、小さなしあわせで…。

朝日新聞 2024/02/24

2024:1./ 24p
978-4-06-534134-6

¥1,760〔税込〕



9 78 4 06 5 3 4 1 3 4 6



奔流～コロナ「専門家」はなぜ消されたのか～

広野 真嗣 著

講談社

尾身茂、押谷仁、西浦博-。国家の命運を託された感染症専門家たちは、顕彰されることもなく、姿を消した。彼らは当時、何を考え、そしていま何を思うのか？ 失われた「コロナ3年間」の真実に迫る。

朝日新聞 2024/02/24

2024:1./ 317p
978-4-06-534465-1

¥1,980〔税込〕



9 78 4 06 5 3 4 4 6 5 1



ヨーロッパ史における戦争 改訂版(中公文庫)

マイケル・ハワード 著
中央公論新社
朝日新聞 2024/02/24

2010:5./ 311p
978-4-12-205318-2

¥1,152〔税込〕



BLANK PAGE〜空っぽを満たす旅〜

内田 也哉子 著
文藝春秋

5年前、私は母と父をたてつけに喪った…。大きな喪失を抱えて谷川俊太郎、小泉今日子、坂本龍一、シャルロット・ゲンズブールら15人と1対1で対峙して綴ったエッセイ集。『週刊文春 WOMAN』掲載を加筆し書籍化。

2023:12./ 288p
978-4-16-391791-7

¥1,760〔税込〕



朝日新聞 2024/02/24



ナイン・ストーリーズ(河出文庫 サ 8-1)

J・D・サリンジャー 著
河出書房新社

バナナ熱にかかるバナナフィッシュの悲しい生態、笑い男の数奇な冒険、船の上の天才少年…。現実を綱渡りで生きるひとびとの一瞬を切り取った、アメリカ文学史上に輝く自選作品集。書き下ろしの訳者あとがきも収録。

2024:1./ 315p
978-4-309-46793-1

¥891〔税込〕



朝日新聞 2024/02/24



嫉妬論〜民主社会に渦巻く情念を解剖する〜(光文社新書 1297)

山本圭 著
光文社

なぜ嫉妬という感情を手放すことができないのか。嫉妬感情は、政治や社会生活、とりわけ民主主義とどうかかわっているのか。嫉妬にかんする古今東西の言説を分析しながら「厄介な感情」を掘り下げて考察する。

2024:2./ 247p
978-4-334-10224-1

¥946〔税込〕



朝日新聞 2024/02/24



イギリス人の患者(創元文芸文庫 LA オ 1-1)

マイケル・オンダーチェ 著
東京創元社

砂漠に墜落し燃え上がる飛行機から生き延びた男は顔も名前も失い、廃墟のごとき屋敷に辿り着いた。戦争の傷を抱えたひとびとの、それぞれの哀しみが語られ、男の秘密も解かれてゆく…。ブッカー賞受賞の美しく妖しい物語。

2024:1./ 375p
978-4-488-80503-6

¥1,320〔税込〕



朝日新聞 2024/02/24



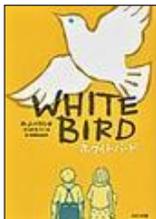
エッセー<1>

ミシェル・ド・モンテーニュ 著
白水社

「読者よ、これは誠実な書物なのだ」自らの欠点や自然の姿を、社会的な礼節の許す限りであからさまに描いた名著の新訳。これまでのモンテーニュのイメージを一新する平易かつ明晰な訳文で、古典の面白さを存分に楽しめる。

朝日新聞 2024/02/24

2005:10./ 333p
978-4-560-02574-1
¥2,530〔税込〕



ホワイトバード

R.J.パラシオ／エリカ・S・パール 著
ほるぶ出版

いじめをして退学になり、新しい学校に通いだしたジュリアンは、学校の宿題でおばあちゃんの子どものころの話を作文に書こうと思い立ち…。「ワンダー」のスピノフ作品。2024年公開映画の原作。

朝日新聞 2024/02/24

2023:11./ 312p
978-4-593-10393-5
¥1,760〔税込〕



私たちはいつから「孤独」になったのか

フェイ・バウンド・アルバーティ 著
みすず書房

“21世紀の疫病”と呼ばれる「孤独」。対処の第一歩は、それが人間の本質的条件であるという見方を疑うことである。ネガティブな欠乏感としての「孤独」が近代において誕生し、複雑な感情群となるその歴史をひもとく。

朝日新聞 2024/02/24

2023:11./ 344p
978-4-622-09655-9
¥4,620〔税込〕



水はうたいます(まど・みちおの絵本)

まど・みちお 著
理論社

ひとしずくの水は、まるで透明な音符。それは、あつまり、ながれ、天にのぼり、地にふって、うたいながら、世界をめぐる。詩人まど・みちおの思いと、画家 nakaban の絵筆とが奏でる絵本のシンフォニー。

朝日新聞 2024/02/24

2023:11./ 32p
978-4-652-20597-6
¥2,090〔税込〕



マクナマラ回顧録～ベトナムの悲劇と教訓～

ロバート・S・マクナマラ 著
共同通信社

ケネディ、ジョンソン政権の国防長官として戦争を指揮した著者が、30年近い沈黙を破ってついに語った世紀の告白。当事者ならではの生々しい証言、未公開資料などで戦争への経緯を再現しつつ、21世紀への教訓を探る。

朝日新聞 2024/02/24

1997:5./ 581p
978-4-7641-0383-2
¥2,750〔税込〕





女子鉄道員と日本近代

若林 宣 著
青弓社

明治初期の女性踏切番、男性職員との差別的な労働条件…。男性中心の日本鉄道史の陰に追いやられ、物珍しい存在としてだけ扱われてきた女性鉄道員とそれに関わる出来事を史資料を発掘して紹介し、通説に大きな風穴を開ける。

朝日新聞 2024/02/24

2023:12./ 204p
978-4-7872-2102-5

¥2,640 [税込]



政治と政治学のあいだ～政治学者、衆議院選挙をかく闘えり～

大井赤亥 著
青土社

学問としての政治学と、現実の選挙活動との乖離、そして接続-。日本政治を掴むフレームワークを示す現代日本政治論、2021年衆議院選挙を候補者として駆け抜けた経験記、日本政治のヴィジョンを展望した試論の3部構成。

朝日新聞 2024/02/24

2023:12./ 245p
978-4-7917-7616-0

¥2,420 [税込]



回想市民運動の時代と歴史家～1967-1980～

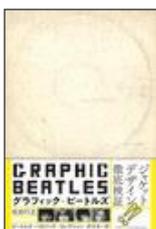
和田 春樹 著
作品社

ロシア革命 50 周年の年に初の業績を上げ、翌年、反戦・反米軍の市民運動を立ち上げ、ベトナム戦争と闘う。さらにモスクワへ向かい…。市民運動を多くの仲間たちと実践した歴史家が描く時代の記録。

朝日新聞 2024/02/24

2023:12./ 320p
978-4-86182-958-1

¥3,520 [税込]



グラフィック・ビートルズ

松田 行正 著

Book & Design

ビートルズのアルバム 11 枚のジャケット・デザインを、1 章ずつ解説。デザインの「革新性」を 20 世紀デザイン史の中に位置付け検証する。表紙に折りたたんだ A1 判ポスター付き。本体は背表紙なし糸綴じ。

朝日新聞 2024/02/24

2023:12./ 287p
978-4-909718-09-9

¥3,960 [税込]



漣の王国(創元推理文庫 M い 16-1)

岩下 悠子 著
東京創元社

神の贈り物と呼ぶべき肉体と才能に恵まれながら夭折した青年。なぜ彼は自ら命を絶ったのか。人生の一時期に訪れる謎と恩寵を忘れ難い余韻をもって描き出す、連作ミステリ。

東京・中日新聞 2024/02/03

2024:1./ 341p
978-4-488-48421-7

¥946 [税込]





母子月～神の音に翔ぶ～

麻宮 好 著
小学館

女形の歌舞伎役者・二代目瀬川路京は人気低迷に足掻き、師匠の初代路京が舞台上で殺された因縁の演目「母子月」を打つことに。公演を前にして、初代殺しを疑われた者たちが集まってくる。真の下手人は誰なのか？

東京・中日新聞 2024/02/03、産経新聞 2024/02/18

2024:1./ 317p
978-4-09-386706-1

¥2,200〔税込〕



トゥデイズ

長嶋 有 著
講談社

子育てのため、郊外にある大規模マンション「R グランハイツ」に引っ越してきた美春と恵示。築50年のマンションに集まり住む住人たちとともに、かけがえのない日々を重ねていく。『群像』『ことばと』掲載を単行本化。

東京・中日新聞 2024/02/04

2023:10./ 186p
978-4-06-533308-2

¥1,760〔税込〕



東京漫才全史(筑摩選書 0270)

神保 喜利彦 著
筑摩書房

定説を覆す東京漫才の始まりから、戦後のメディアと連動した復興、爆笑問題、ナイツの活躍まで。東京漫才に焦点を当て、漫才の源流にまで遡り、その発生と栄枯盛衰を通説の誤解を正しつつ記した、東京漫才通史。

東京・中日新聞 2024/02/04

2023:12./ 404p
978-4-480-01785-7

¥2,310〔税込〕



ものづくり中部の革新者

中部産業遺産研究会 著
風媒社

戦前は繊維業、陶磁器、機械工業などで栄え、戦後は自動車工業へ…。「ものづくり中部」として知られる、名古屋を中心とする中部地域の発展に尽くした産業人、技術者、教育者たちの横顔を描く。

東京・中日新聞 2024/02/04

2023:12./ 355p
978-4-8331-0635-1

¥3,300〔税込〕



東京ひとり暮らし女子のお部屋図鑑～イラスト+コミック集～

mame 著
翔泳社

隅田川沿いのヴィンテージマンション、中野ブロードウェイを抜けた先にある学生向け物件、世田谷線が見える一軒家…。都内のさまざまな地域を舞台にいろいろなひとり暮らし女子を描いたイラスト+コミック集。

東京・中日新聞 2024/02/10

2024:1./ 127p
978-4-7981-8046-5

¥1,760〔税込〕





老いと創造～朦朧人生相談～(講談社現代新書 2728)

横尾 忠則 著
講談社

「定年後、居場所がなくなるのが不安」「孤独が怖い」「絵やイラストを上手に描くコツを教えて」「仏教をどのように学んだ?」さまざまな悩みに横尾忠則が答える。人生観をあらわす50作品もカラーで収録する。

東京・中日新聞 2024/02/11

2023:11./ 221p
978-4-06-534093-6

¥1,320〔税込〕



9 78 4 06 534093 6



シン・談志が死んだ～立川流はどこへ行く～

立川 談志／落語立川流 一門 著
小学館

落語立川流創設から40年。真打31人、二ツ目22人が、立川流の過去、現在、そして未来を書き下ろす。談志の生前の言葉や、立川流の系図、名鑑、年表なども収録する。

東京・中日新聞 2024/02/11

2023:11./ 366p
978-4-09-389141-7

¥2,530〔税込〕



9 78 4 09 389141 7



天狗説話考

久留島 元 著
白澤社

天狗は妖怪か。鼻高天狗や烏天狗のイメージはどのように形成されたのか。信仰心や恐怖心、政治、宗教、娯楽、学問的関心…。さまざまな要素が複雑にからみあって成長してきた天狗像を「天狗説話」の視点から解き明かす。

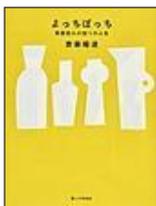
東京・中日新聞 2024/02/11

2023:11./ 254p
978-4-7684-7999-5

¥2,860〔税込〕



9 78 4 76847999 5



よっちぼっち～家族四人の四つの人生～

齋藤陽道 著
暮しの手帖社

ろう者である両親と、ふたりの聞こえる子どもたち。手話をことばとして生きる写真家が紡ぐ、異なる身体を持つ一家の4年ぶんの愛しい記録。『暮しの手帖』連載を加筆・修正してまとめる。

東京・中日新聞 2024/02/11、毎日新聞 2024/02/24

2023:11./ 141p
978-4-7660-0237-9

¥2,200〔税込〕



9 78 4 76600237 9



ユーカラおとめ

泉 ゆたか 著
講談社

絶滅の危機に瀕した口承文芸を詩情あふれる日本語に訳し、今も読み継がれる名著「アイヌ神謡集」。著者は19歳の女性だった。民族の誇り。差別との闘い。ユーカラに賭ける情熱。短い生涯を駆け抜けた知里幸恵を描く小説。

東京・中日新聞 2024/02/17

2024:1./ 268p
978-4-06-531945-1

¥1,925〔税込〕



9 78 4 06 531945 1



山ぎは少し明かりて

辻堂 ゆめ 著
小学館

佳代、千代、三代の三姉妹が暮らす瑞ノ瀬村にダム建設計画の話が浮上する。愛する村が、湖の底に沈んでしまう。佳代は愛する夫・孝光とともに、故郷を守ろうと奔走するが…。『WEB きらら』連載を改稿。

東京・中日新聞 2024/02/17、朝日新聞 2024/02/17

2023:11./ 315p
978-4-09-386701-6

¥1,870〔税込〕



ポスト・ディストピア論～逃げ場なき現実を超える想像力～

円堂都司昭 著
青土社

「復活の日」「白の闇」「天気の子」…。小説から映画、音楽まで、古今東西のディストピア作品を読み解き、ディストピアや終末的状况のなかにいる人々にとっての出口について、物語がどのように想像してきたかを論じる。

東京・中日新聞 2024/02/18

2023:12./ 398p
978-4-7917-7608-5

¥2,640〔税込〕



地名散歩～地図に隠された歴史をたどる～(角川新書 K-438)

今尾 恵介 著
KADOKAWA

内陸長野県に多い「海」がつく駅名、「町」という名の村…。縁起の良い漢字に置き換わったり、ブランド力のある名前を借りたりした、全国の不思議な地名を取りあげ、その由来をひもとく。『土地家屋調査士』連載を加筆修正。

東京・中日新聞 2024/02/24

2023:12./ 238p
978-4-04-082477-2

¥1,012〔税込〕



北辰の門

馳星周 著
中央公論新社

時は天平。出世の階段を駆け上がる藤原仲麻呂は危険な野望を秘めていた。次代の天皇である阿倍内親王の仲麻呂への恋慕の情が憎しみに転じた時、時代の歯車が軋み始める。『読売新聞オンライン』連載を単行本化。

東京・中日新聞 2024/02/24

2024:1./ 377p
978-4-12-005735-9

¥1,980〔税込〕



聖地旅順と帝国の半世紀～近代日本の磁場をたどる～

渡辺 浩平 著
白水社

旅順によって日本は国家発展の礎を築き、その延長線上にある中国大陸での権益拡大によって破局を迎えた。日露戦争を戦った将兵の視点を通して、旅順が日本の聖地となった紆余曲折をたどる。

東京・中日新聞 2024/02/25

2024:1./ 263p,7p
978-4-560-09395-5

¥2,640〔税込〕





だめ連の資本主義よりたのしく生きる

神長恒一／ペペ長谷川 著

現代書館

資本主義で「ファイア」するのではない。資本主義を「ファイア」するのだ! だめ連30年の活動を振り返りつつ、あまり働かない人生、生きている実感のある人生、つまりオルタナティブな生き方をぞんぶんに語りあう。

東京・中日新聞 2024/02/25

2024:1./ 470p
978-4-7684-5953-9

¥2,860〔税込〕



9 78 4 7 6 8 4 5 9 5 3 9



正義はどこへ行くのか〜映画・アニメで読み解く「ヒーロー」〜(集英社新書 1193)

河野 真太郎 著

集英社

ヒーローの誕生から発展までの歴史的視座を参照し、アメリカと日本のポップカルチャーに登場、活躍する<新しいヒーロー>を縦横無尽に論じる。ウェブサイト『集英社新書プラス』連載を加筆修正、書き下ろしを加える。

読売新聞 2024/02/04

2023:12./ 248p
978-4-08-721293-8

¥1,056〔税込〕



9 78 4 0 8 7 2 1 2 9 3 8



生贖の門(新潮文庫 ロ-19-1)

マネル・ロウレイロ 著

新潮社

巨石を連ねた建造物のそばに横たわる血まみれの若い娘。下腹部で組まれた手には、抉り取られた彼女自身の心臓…。儀式めいた惨殺事件を担当する捜査官ラケルの周囲で、不穏な出来事が次々と発生し…。サスペンス・ホラー。

読売新聞 2024/02/04

2023:12./ 510p
978-4-10-240371-6

¥1,045〔税込〕



9 78 4 1 0 2 4 0 3 7 1 6



インタビュー・ウィズ・ザ・プリズナー(ハヤカワ文庫 JA 1561)

皆川 博子 著

早川書房

独立戦争中のアメリカ。開拓者と先住民の間に生まれた青年が殺された。記者ロディは、獄中の英国兵エドに殺害の動機を尋ね、青年の手記を渡す。だが、手記を読んだエドが語り始めたのは…。エドワード・ターナー三部作完結。

読売新聞 2024/02/04

2023:11./ 517p
978-4-15-031561-0

¥1,430〔税込〕



9 78 4 1 5 0 3 1 5 6 1 0



王の綽名

佐藤賢一 著

日経B P社

征服王、雷帝、太陽王…。ヨーロッパの王にはなぜ綽名がついたのか? 8~19世紀の55の綽名を取り上げその由来をたどり、現在の欧州各国ができてあがるまでの歴史を浮かび上がらせる。『日本経済新聞』連載を単行本化。

読売新聞 2024/02/04

2023:11./ 229p
978-4-296-11894-6

¥1,870〔税込〕



9 78 4 2 9 6 1 1 8 9 4 6



犯罪へ至る心理～エティエンヌ・ド・グレーフの思想と人生～(光文社新書 1283)

梅澤礼 著
光文社

どのようにして人は犯罪に手を染めることになるのか。誰もが罪を犯す可能性があるとしながら、それでも人を信じ、犯罪を防ぐ方法を探し続けたエティエンヌ・ド・グレーフの思想と人生を辿りつつ、人が罪を犯す心理を紐解く。

読売新聞 2024/02/04

2023:11./ 296p
978-4-334-10134-3

¥990〔税込〕



アンリ・ヨコオ・ウッソー

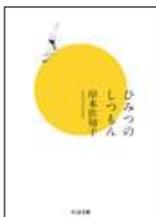
横尾忠則 著
国書刊行会

横尾忠則が意識せざるを得なかったアンリ・ルソーの画業に内在するデモニッシュな部分とは何だったのか。横尾のキャリアにおいて最も長期間にわたり描かれ続けている「ルソー・シリーズ」全点を、最新作も含め完全収録する。

読売新聞 2024/02/04

2023:12./ 159p
978-4-336-07548-2

¥3,960〔税込〕



ひみつのしつもん(ちくま文庫 き 30-3)

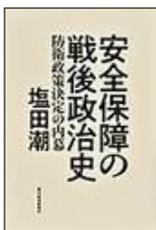
岸本 佐知子 著
筑摩書房

セキュリティ対策で訊かれる子供の頃の親友の名前が思い出せない。部屋のなかに見知らぬネジが落ちている。花火で打ち上げられる夏の思い出…。奇想天外、抱腹絶倒、キシモトワールド全開のエッセイ集。単行本未収録を増補。

読売新聞 2024/02/04

2023:11./ 269p
978-4-480-43927-7

¥792〔税込〕



安全保障の戦後政治史～防衛政策決定の内幕～

塩田 潮 著
東洋経済新報社

憲法、安保改定、専守防衛、非核三原則、防衛費1%枠、尖閣問題、集団的自衛権から岸田政権の三文書改定まで。防衛政策をめぐる攻防と決定の軌跡を描き、安保・防衛問題の歴史から浮かび上がる戦後政治の実相に迫る。

読売新聞 2024/02/04

2023:10./ 449p
978-4-492-06223-4

¥3,080〔税込〕



第三の波～20世紀後半の民主化～

サミュエル・P・ハンティントン 著
白水社

20世紀後半にもたらされた民主主義とは何だったのか。20世紀後半の民主化の流れを「第三の波」と類型化し、体系的に分析する。政治学の古典であり、民主化をめぐる議論の出発点となった記念碑的著作を新訳。

読売新聞 2024/02/04

2023:12./ 349p,64p
978-4-560-09389-4

¥3,960〔税込〕





手紙・絵画・写真でたどるオスカーワイルドの軌跡～世紀末を翻弄した言葉の奇才～

ジュリエット・ガーディナー 著
マール社

私は誰かのことを崇拜したことなどありません。自分以外は-。世紀末芸術の異端児オスカー・ワイルド。豊富な絵画や写真、作家本人と彼をとりまく人々の言葉を通して、美と反逆に彩られた生涯をたどる。

読売新聞 2024/02/04

2023:11./ 160p
978-4-8373-0696-2

¥3,630 [税込]



9 78 4 837 3069 62



台湾の半世紀～民主化と台湾化の現場～(筑摩選書 0269)

若林 正文 著
筑摩書房

黎明期から台湾を見つめ続けた研究者が、米中両大国に翻弄されつつも主体性を模索する台湾のこれまでを振り返り、現状と今後のゆくえを分析する。『nippon.com』連載を再構成、加筆し書籍化。

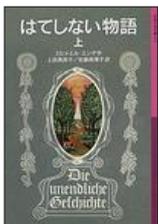
読売新聞 2024/02/04、日本経済新聞 2024/02/24

2023:12./ 334p
978-4-480-01784-0

¥2,090 [税込]



9 78 4 480 0178 40



はてしない物語<上>(岩波少年文庫 501)

ミヒャエル・エンデ 著
岩波書店

少年バスチアンが読んでいた本の中のファンタジーエン国は、正体不明の「虚無」におかされ滅亡寸前に…。現実と物語が交じり合って壮大な世界をくり広げるファンタジー。

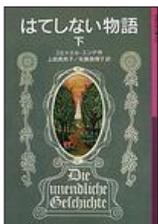
読売新聞 2024/02/11

2000:6./ 329p
978-4-00-114501-4

¥836 [税込]



9 78 4 00 1145 01 4



はてしない物語<下>(岩波少年文庫 502)

ミヒャエル・エンデ 著
岩波書店

物語の呼びかけにこたえて本の世界に入り込んだバスチアンと、そこで出会ったアトレユ。二人の少年がまきこまれてゆく不思議な冒険はどのような結末に?人類の未来を問いかける異色のファンタジー。

読売新聞 2024/02/11

2000:6./ 417p
978-4-00-114502-1

¥924 [税込]



9 78 4 00 1145 02 1



わかりやすさの罪(朝日文庫 た 68-1)

武田砂鉄 著
朝日新聞出版

「すぐにわかる」に頼るメディア。わかりやすさの妄信、猛進が、私たちの社会にどのような影響を及ぼしているのだろうか。納得と共感に溺れる社会で、与えられた選択肢を疑うための書。

読売新聞 2024/02/11

2024:1./ 338p
978-4-02-262087-3

¥946 [税込]



9 78 4 02 2620 87 3



インディーゲーム中毒者の幸福な孤独

ソーシキ博士 著
集英社

戦火のウクライナ発の経営シミュレーション、絵文字だけで会話するゲームなど、海外で自主制作された奇天烈なインディーゲームを、異能のアニメーション作家が紹介する。『小説すばる』連載に書き下ろしを加えて書籍化。

読売新聞 2024/02/11

2023:12./ 140p
978-4-08-788096-0

¥1,540〔税込〕



パフェ本

斧屋 著
小学館

月替わりのパフェ、体験型パフェ、カウンターで食べるパフェ…。日本唯一のパフェ評論家が、9つのテーマに沿ってパフェの店を紹介。日本各地の美味しいパフェも掲載する。データ:2018年7月現在。

読売新聞 2024/02/11

2018:10./ 112p
978-4-09-388646-8

¥1,320〔税込〕



漫画を描く〜凛としたヒロインは美しい〜

里中満智子 著
中央公論新社

1960年代のデビュー以来、数々のヒット作を世に送り出してきたマンガ家・里中満智子。「すべてのマンガ文化を守りたい」との想いを胸に走り続けてきた75年の半生を振り返る。『日本経済新聞』連載に加筆修正。

読売新聞 2024/02/11

2024:1./ 240p
978-4-12-005730-4

¥1,760〔税込〕



オリエント急行の殺人〜新訳〜(ハヤカワ・クリスティー文庫 8 ポアロ)

アガサ・クリスティー 著
早川書房

読売新聞 2024/02/11

2011:4./ 413p
978-4-15-131008-9

¥1,034〔税込〕



AIガバナンス入門〜リスクマネジメントから社会設計まで〜(ハヤカワ新書 017)

羽深 宏樹 著
早川書房

“AIガバナンス”の基礎知識から各国の動向、あるべき社会像までを解説した入門書。AIが人間や社会にもたらす様々な影響や個別システム単位でのリスクマネジメント、AIと共に発展するための社会制度を網羅的に解説する。

読売新聞 2024/02/11

2023:12./ 270p
978-4-15-340017-7

¥1,100〔税込〕





雨滴は続く(文春文庫 に 18-6)

西村 賢太 著
文藝春秋

北町貫多が同人誌に発表した小説が、大手文芸誌「文豪界」に転載された。37年の人生において初めて訪れたチャンスをもものにするべく、苦悩しながらも奮闘する作家前夜の日々を描く。ヒロイン・葛山久子による特別原稿も収録。

読売新聞 2024/02/11

2024:1./ 555p
978-4-16-792160-6

¥1,155〔税込〕



ボードゲームで社会が変わる～遊戯するケアへ～(河出新書 069)

與那覇 潤／小野 卓也 著
河出書房新社

いま、流行するボードゲームには、自分と相手を<分断しない>社会のヒントが満載。気鋭の評論家とボードゲーム普及活動の先駆者が、ボードゲームを<遊ぶ>べき理由を徹底討論する。有識者6名による対戦記なども収録。

読売新聞 2024/02/11

2023:11./ 229p
978-4-309-63171-4

¥990〔税込〕



生ける屍の死<上>(光文社文庫 や 26-3)

山口 雅也 著
光文社

アメリカの田舎町で霊園を経営するバーレイコーン一族では、家長が病床に伏しており、その遺産を巡って家中にただならぬ雰囲気漂っていた。一方その頃、アメリカの各地で不可解な死者の甦り現象が起きていたのだが...

読売新聞 2024/02/11

2018:6./ 393p
978-4-334-77673-2

¥858〔税込〕



生ける屍の死<下>(光文社文庫 や 26-4)

山口 雅也 著
光文社

遺産騒動の最中、命を落としてしまったパンク青年のグリーンは、リビング・デッドとして甦ってしまう。霊園を経営する一族に巻き起こる連続殺人。その真相を、自らの死を隠したまま、グリーンは追うのだが...

読売新聞 2024/02/11

2018:6./ 391p
978-4-334-77674-9

¥858〔税込〕



存在と時間<上>(ちくま学芸文庫)

マルティン・ハイデッガー 著
筑摩書房

哲学の根本課題、存在の問題を、現存在としての人間の時間性の視界から解明した大著。刊行時すでに哲学の古典と称された20世紀の記念碑的著作。

読売新聞 2024/02/11

1994:6./ 528p
978-4-480-08137-7

¥1,320〔税込〕





存在と時間<下>(ちくま学芸文庫)

マルティン・ハイデッガー 著
筑摩書房

第一編で「現存在の準備的な基礎分析」をおえたハイデッガーは、この第二編では「現存在と時間性」として死の問題を問い直す。

1994:6./ 496p
978-4-480-08138-4
¥1,320〔税込〕



読売新聞 2024/02/11



ミステリウム(創元ライブラリ Lマ 1-2)

エリック・マコーマック 著
東京創元社

ある炭鉱町に、水の研究者を名乗る男が現れる。以来、その町では墓地や図書館が荒らされ、住人たちは奇怪な病に侵され死んでいき…。マコーマックの不気味な奇想小説。柴田元幸のエッセー「座りの悪さのよさ」を再録。

2023:12./ 317p
978-4-488-07088-5
¥1,430〔税込〕



読売新聞 2024/02/11



つながらない覚悟(PHP新書 1381)

岸見 一郎 著
PHP研究所

「私」を失わないためには、孤独を恐れてはいけない。私たちにはつながらない覚悟が必要なのだ。哲学者が、望ましくない人間関係を捨てて、偽りのつながりを真のつながりに変えるための考え方や方法を語る。

2023:12./ 250p
978-4-569-85621-6
¥1,100〔税込〕



読売新聞 2024/02/11



どんマイナー 武将伝説

長谷川 ヨシテル 著
柏書房

歴史の狭間で光り輝く英雄から、地元で愛される偉人まで。歴史好きでも知らないような“ご当地マイナー武将”を、著者の独断と偏見で統率力・武勇・知力など5つの能力を査定した“どんマイナーパラメーター”とともに紹介。

2023:9./ 223p
978-4-7601-5532-3
¥1,870〔税込〕



読売新聞 2024/02/11



居場所のなさを旅しよう(教養みらい選書 008)

磯前 順一 著
世界思想社

友だちがいないやつは格好悪い？ 居場所がないことは恥ずかしい？ どこにも所属できない居心地の悪さについて考えてみよう。アウトサイダーの思想を手がかりに世界を旅する一冊。

2023:11./ 184p
978-4-7907-1786-7
¥1,870〔税込〕



読売新聞 2024/02/11



西洋古典名言名句集

西洋古典叢書編集部 編
京都大学学術出版会

ギリシア・ローマ世界を飛び回っていた言葉たちが、時代を超えて飛んできた! 「西洋古典叢書」160冊から、選りすぐりの名言名句1000余りを厳選紹介。訳文、ギリシア語・ラテン語の原文、著者名、作品名などを収録。

読売新聞 2024/02/11

2023:12./ 254p
978-4-8140-0506-2

¥2,640〔税込〕



聖母の晩年〜中世・ルネサンス期イタリアにおける画像の系譜〜

桑原 夏子 著
名古屋大学出版会

聖書には聖母マリアの死の記述はない。しかし、マリア崇敬の高まりとともに、晩年伝の多様な画像が生み出されてきた。地中海圏の聖堂壁画からドゥッチョやジョットらの作品まで、マリアの最期をめぐる美術史をよみがえらせる。

読売新聞 2024/02/11

2023:12./ 904p
978-4-8158-1141-9

¥16,500〔税込〕



風船ことはじめ

松尾龍之介 著
弦書房

気球は誰によって発明され、どのように発展し、やがて長崎に現れ、どういう理由で秋田の山中に伝わったのか。航空史と洋学史の数々の歴史的なエピソードを交えながら考察する。

読売新聞 2024/02/11

2023:11./ 308p
978-4-86329-278-9

¥2,420〔税込〕



空と花とメランコリー 榎本マリコ作品集

榎本マリコ 著
芸術新聞社

顔を隠された異形の人物像が話題書の装幀に採用され、一躍脚光を浴びる画家・榎本マリコの初作品集。初期作から最新作、クライアントワークまでを厳選して収録する。

読売新聞 2024/02/11

2023:11./ 139p
978-4-87586-682-4

¥2,970〔税込〕



海に見える風景

早川 義夫 著
文遊社

妻を看取ったあと、探し求めた終の住処には、海に見える風景があった-。愛犬との静かな生活、日々の暮らしのこと、好きなもの嫌いなもの、本当は伝えなかった思い、ふと蘇る記憶などを綴る。

読売新聞 2024/02/11

2023:12./ 185p
978-4-89257-079-7

¥1,980〔税込〕





タイ飯、沼。

高田胤臣 著
晶文社

空前絶後、情熱の国を食べ尽くす! おなじみのトムヤムクン、ガパオから、日本では絶対食べられない各種の麺、超マニアックで危険な料理、そして豊富なスイーツまで、タイ在住 20 年間で実際に食べた料理を一気に紹介。

読売新聞 2024/02/11、朝日新聞 2024/02/17

2023:11./ 723p
978-4-7949-7380-1
¥3,520〔税込〕



体罰と日本野球〜歴史からの検証〜

中村 哲也 著
岩波書店

日本のスポーツにおける体罰の問題。歪んだ構造はいつ発生し、なぜ広がっていったのか。日本の代表的スポーツである野球の歴史をたどりながら、膨大な史料を駆使し実証的に考察。体罰なきスポーツ界に向けて具体的に提言する。

読売新聞 2024/02/18

2023:12./ 260p
978-4-00-061622-5
¥2,750〔税込〕



沢田研二(朝日新書 939)

中川右介 著
朝日新聞出版

絶大な人気がありながらも、分裂を迎えたザ・タイガース時代。事件、謹慎、紅白辞退の乱気流からレコード大賞獲得、紅白の大トリ…。空前絶後のスーパースター、沢田研二の華麗なる闘いの軌跡を描く。

読売新聞 2024/02/18

2023:12./ 522p
978-4-02-295246-2
¥1,760〔税込〕



裏切り者の中国史(講談社学術文庫 2803)

井波 律子 著
講談社

復讐に取り憑かれた伍子胥、人心を操り権力に固執した王莽、女のために国を売った呉三桂…。『史記』『戦国策』『三国志』『世説新語』等の史料から、極め付きの裏切り者や悪漢を選出し、彼らの数奇な人生を描く。

読売新聞 2024/02/18

2024:1./ 290p
978-4-06-533541-3
¥1,265〔税込〕



国鉄史(講談社選書メチエ 792)

鈴木 勇一郎 著
講談社

日本史上最大の組織「国鉄」はいかに作られたか。近代化に邁進する明治政府が新橋・横浜間を開設してから、昭和末期に日本国有鉄道が分割民営化されるまで、「鉄道と国家」の歴史を一望する。

読売新聞 2024/02/18

2023:12./ 272p
978-4-06-534196-4
¥2,035〔税込〕





師匠

立川 志らく 著
集英社

立川談志という落語家が大嫌いだった。天才にして革命家であった師匠・立川談志への熱き想いを綴った、人気落語家の自伝的エッセイ。『小説すばる』連載を書籍化。

読売新聞 2024/02/18

2023:11./ 248p
978-4-08-771851-5

¥1,870〔税込〕



くらべて、けみして〜校閲部の九重さん〜

こいし ゆうか 著
新潮社

目がかすむまでくらべて、指紋がなくなるまでけみする! 出版社の「縁の下の力持ち」として存在する校閲者の日常を軽妙に描くお仕事コミック。『小説新潮』連載を書籍化。

読売新聞 2024/02/18

2023:12./ 140p
978-4-10-355391-5

¥1,265〔税込〕



日蓮〜「闘う仏教者」の実像〜(中公新書 2779)

松尾剛次 著
中央公論新社

「闘う仏教者」のイメージがある一方、民衆の苦しみに寄り添う姿も垣間見られる日蓮。自筆の書簡、数多くの著作をはじめ、史料を博搜して、生い立ちから日蓮宗の創始、相次ぐ法難と流罪、晩年まで、その思想と人物像に迫る。

読売新聞 2024/02/18

2023:11./ 8p,201p
978-4-12-102779-5

¥924〔税込〕



インドの食卓〜そこに「カレー」はない〜(ハヤカワ新書 016)

笠井 亮平 著
早川書房

インド料理店の定番「バターチキン」の意外な発祥、独自進化したインド中華料理...。在インド日本大使館にも勤務した南アジア研究者が、インド料理のステレオタイプを解き、その多様性を描き出す。写真も多数掲載。

読売新聞 2024/02/18

2023:12./ 238p
978-4-15-340016-0

¥1,144〔税込〕



江戸に欠かせぬ創作ばなし〜綺堂随筆〜 新装版(河出文庫 お2-6)

岡本 綺堂 著
河出書房新社

岡本綺堂は江戸の言葉とどのように向き合ったのか。江戸から明治へ言葉はどう変化したのか。今も古びない創作論、「半七捕物帳」の思い出、怪談奇譚、明治時代の寄席と芝居の記録等を収録した、綺堂の魅力が満載のエッセイ集。

読売新聞 2024/02/18

2024:1./ 324p
978-4-309-42076-9

¥990〔税込〕





『大漢和辞典』の百年

池澤正晃 著
大修館書店

世界最大級の漢和辞典はどのようにして作られたか。戦中に刊行された第1巻から、平成・令和に発行されたデジタル版までの「大漢和辞典」の軌跡を、校正刷など多数の資料写真とともに辿る。『漢字文化資料館』連載を再構成。

読売新聞 2024/02/18

2023:11./ 254p
978-4-469-23287-5

¥3,740〔税込〕



出久根達郎の古本屋小説集(ちくま文庫 て10-5)

出久根 達郎 著
筑摩書房

古本屋店主にして作家となった出久根達郎。その古本小説のなかから傑作を選び出したアンソロジー。自身の体験をもとに、一冊の本に込められた思い、人と本が織りなす様々な人間模様を描いた作品 23 編を収録。

読売新聞 2024/02/18

2023:11./ 411p
978-4-480-43916-1

¥1,100〔税込〕



検閲官のお仕事

ロバート・ダーントン 著
みすず書房

違法な書籍商を従えて禁書の取引をした警官、現地語文学の動向を仔細に読み込み監視する図書館員…。プルボン朝フランス、英領インド、東ドイツという3つの政治体制の検閲を題材に、言論統制のエージェントたちの実相に迫る。

読売新聞 2024/02/18

2023:12./ 368p
978-4-622-09663-4

¥5,500〔税込〕



地方史のつむぎ方～北海道を中心に～

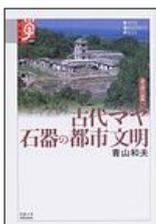
山本 竜也 著
尚学社

地方史を調べ、聞き、書き、発表する方法は？北海道の地方史の調査・公表に取り組んできた著者が、在野研究者・作家・学芸員・大学教員ら24人にインタビューし、彼らの手法を探るとともに、自らの地方史の調査方法を公開。

読売新聞 2024/02/18

2024:1./ 11p,446p
978-4-86031-186-5

¥3,740〔税込〕



古代マヤ 石器の都市文明(学術選書)

青山 和夫 著
京都大学学術出版会

マヤ文字、260日暦、神殿ピラミッド、農業体系…。「謎のマヤ」伝説を覆し、古代マヤの全容を通史として、100枚を超える豊富な図版を駆使し「新しいマヤ文明観」をいきいきと描く。

読売新聞 2024/02/18

2005:12./ 341p
978-4-87698-804-4

¥1,980〔税込〕





危機のいま古典をよむ

與那覇 潤 著
而立書房

人間にとってほんとうに大切なことは、かつて本気で思考した先人の書物に描かれている。再び訪れるだろう困難な時代を生きるための、希望の読書論。E.トッド、苅部直らとの「書物がつなく対話」も収録する。

読売新聞 2024/02/18

2023:11./ 238p
978-4-88059-439-2

¥1,980〔税込〕



台湾和製マジョリカタイルの記憶

康銘錫 著
トゥーヴァージンズ

日本統治時代、台湾で流行した彩色タイル「花磚」。日本で「和製マジョリカタイル」と呼ばれ、今日わずかに残存する古い建物においてのみ見られる。長年にわたるフィールドワークにより台湾と日本を繋ぐタイルの歴史をたどる。

読売新聞 2024/02/18

2023:10./ 213p
978-4-910352-72-5

¥2,420〔税込〕



夢と生きる〜バンドマンの社会学〜

野村 駿 著
岩波書店

“人生は多様になった”“好きに生きていい”と言われる世の中になったけれど、実際は？「普通とされる生き方」を選ばないバンドマンたちへのインタビュー調査をもとに、夢を追う若者の実態を明らかにする。

読売新聞 2024/02/25

2023:11./ 334p
978-4-00-025434-2

¥2,860〔税込〕



耳は悩んでいる(岩波新書 新赤版 2000)

小島 博己 著
岩波書店

聞こえない、つまる、ひびく、痛い、かゆい…。現役の耳鼻咽喉科医らが、繊細で未知な部分も多い「耳」の症状や、病気、耳の症状に隠された別の病気などをわかりやすく解説。聞こえと認知症との関連など、最新の知見も紹介。

読売新聞 2024/02/25

2023:12./ 244p
978-4-00-432000-5

¥1,056〔税込〕



奈落で踊れ(朝日文庫 つ19-3)

月村了衛 著
朝日新聞出版

ノーパンすき焼きスキャンダルが発覚し、大蔵省に危機が訪れる。大物主計局長、暴力団幹部、総会屋総帥、政治家らの思惑が入り乱れるなか、霞が関のダークヒーロー・香良洲圭一が現れ…。スリリングな官僚ピカレスク小説。

読売新聞 2024/02/25

2024:1./ 463p
978-4-02-265135-8

¥1,045〔税込〕





パッキパキ北京

綿矢 りさ 著
集英社

コロナ禍の北京で単身赴任中の夫から、一緒に暮らそうと乞われた菫蒲。愛犬を携えしゅしゅ中国に渡るが…。「人生エンジョイ勢」を極める菫蒲が北京を味わい尽くす、貪欲駐妻ライフ! 『すばる』掲載を単行本化。

読売新聞 2024/02/25

2023:12./ 144p
978-4-08-771857-7

¥1,595〔税込〕



冬に子供が生まれる

佐藤 正午 著
小学館

「今年の冬、彼女はおまえの子供を産む」 その年の7月、丸田君はスマホに身におぼえがない奇妙なメッセージを受け取った。一方で、過去の記憶の断片が向こうから迫ってくるのを感じていた。『WEB きらら』連載を単行本化。

読売新聞 2024/02/25

2024:2./ 364p
978-4-09-386707-8

¥1,980〔税込〕



沈没船博士、海の底で歴史の謎を追う(新潮文庫 や-88-1)

山船 晃太郎 著
新潮社

読売新聞 2024/02/25

2024:2./ 260p
978-4-10-104931-1

¥649〔税込〕



書くことの不純

角幡唯介 著
中央公論新社

生死の瀬戸際で、もう一人の自分が囁く「もっと面白くしよう」という誘い。冒険家・角幡唯介が、「書くということ」「生きるということ」の意味を問い直す。『中央公論』連載に加筆・修正。

読売新聞 2024/02/25

2024:1./ 251p
978-4-12-005737-3

¥1,760〔税込〕



そこにある山〜人が一線を越えるとき〜(中公文庫 か96-1)

角幡唯介 著
中央公論新社

人はなぜ冒険し、山に登るのか。「永久にわからないだろう」と思い続けてきた謎を解き明かしたのは、まさかの「結婚」だった!? 43歳をすぎ「人生が下り坂に入った」と自覚する著者が、探検家としての思考の遍歴を辿る。

読売新聞 2024/02/25

2023:12./ 281p
978-4-12-207452-1

¥902〔税込〕





大学入試の共通試験改革をめぐるポリティクス～「拒否権プレイヤー論」による政策過程分析～

中村 恵佑 著
東京大学出版会

教育政策上重要な位置を占める大学入試の共通試験を対象に、その政策形成・決定過程のいかなる要因が共通試験の政策転換に影響を与えうるのかを、理論的・実証的に解明する。

読売新聞 2024/02/25

2024:1./ 3p,353p
978-4-13-056241-6

¥7,920〔税込〕



人造人間キカイダー<1>(秋田文庫)

石ノ森 章太郎 著
秋田書店

読売新聞 2024/02/25

2000:11./ 307p
978-4-253-17611-8

¥639〔税込〕



日本の都市100年地図～100年前の全国100都市詳細地図集～

今尾 恵介 著
河出書房新社

旧町名、鉄道と路面電車、活動写真館…。北海道から九州・沖縄まで、大正後期から昭和戦前の中戦より前の市街地図を掲載。太平洋戦争末期の本土空襲と高度経済成長の変貌より以前の日本の姿を知ることができる古地図集。

読売新聞 2024/02/25

2023:11./ 451p
978-4-309-22898-3

¥19,800〔税込〕



ひみつのアッコちゃん<4> 完全版

赤塚 不二夫 著
河出書房新社

赤塚不二夫の代表作「ひみつのアッコちゃん」が、『りぼん』連載時のオリジナル・バージョンでよみがえる。第4巻には、「カン吉くんときよしこの夜」「がんばれおてつだいさん」「ふしぎなコンパクト」など、全15篇を収録。

読売新聞 2024/02/25

2009:2./ 261p
978-4-309-27081-4

¥1,870〔税込〕



韓国の国防政策～「強軍化」を支える防衛産業と国防外交～

伊藤 弘太郎 著
勁草書房

国防費が日本を越え、防衛装備品の輸出も急拡大している韓国。韓国の防衛産業はいかにして躍進したのか。それを下支えした国防外交とはどのようなものなのか。これまでの歴史や仕組みを解明し、その要因を探る。

読売新聞 2024/02/25

2023:11./ 6p,183p
978-4-326-30334-2

¥3,960〔税込〕





照子と瑠衣

井上荒野 著
祥伝社

照子と瑠衣。ともに 70 歳。妻を見下す夫を捨て、老人マンションの陰湿な人間関係を見限った。新天地に来て、ストレスのない暮らしを手に入れたふたりは、自分の人生を取り戻していき…。『コフレ』連載に加筆、訂正。

読売新聞 2024/02/25

2023:10./ 216p
978-4-396-63651-7

¥1,760〔税込〕



9 78 4 396 63651 7

芥川龍之介全集<4>(ちくま文庫)

芥川龍之介 著
筑摩書房

読売新聞 2024/02/25

1987:1./ 439p
978-4-480-02084-0

¥880〔税込〕



9 78 4 480 02084 0



佐武と市捕物控<江戸暮しの巻>(ちくま文庫 い 97-2)

石ノ森 章太郎 著
筑摩書房

若き下っ引き佐武と、盲目で剣の達人の市が難事件を解決! 江戸の風物を背景に、人々のこころの闇と生きる哀しさを描いた作品群をセレクトした文庫オリジナル・アンソロジー。「菖蒲」「蛇の目」「菊人形」など全7編を収録。

読売新聞 2024/02/25

2019:6./ 318p
978-4-480-43599-6

¥858〔税込〕



9 78 4 480 43599 6



漂流する日本企業～どこで、なにを、間違え、迷走したのか?～

伊丹 敬之 著
東洋経済新報社

配当にカネを回して、投資を抑制して、企業は成長できるのか。日本の経済成長の低さの原因は企業の経営のあり方にあるとして、経営分析をもとに「失われた 30 年」の日本企業の姿を描く。日本のポテンシャルの高さにも言及。

読売新聞 2024/02/25

2024:1./ 348p
978-4-492-50349-2

¥2,640〔税込〕



9 78 4 492 50349 2



それでも政治を擁護する～デモクラシーが重要な理由～(サピエンティア 70)

マシュー・フリンダース 著
法政大学出版局

ポピュリストが台頭する世界で、政治の未来をいかに形作っていくか。現代の民主政治が直面する諸問題から民主政治を「擁護する」方途を見極め、提言する。日本語版への序文も収録。

読売新聞 2024/02/25

2023:11./ 354p
978-4-588-60370-9

¥4,400〔税込〕



9 78 4 588 60370 9



権力を読み解く政治学(y - knot Musubu)

羅 芝賢／前田 健太郎 著
有斐閣

被治者の視点に立ち、思想・経済・軍事力・制度の角度から政治権力の働きを読み解く政治学のテキスト。西洋と東アジアを対比しつつ、国民国家を前提につくられた民主主義の可能性と限界を論じる。問答形式のコラム付き。

読売新聞 2024/02/25

2023:12./ 9p,383p
978-4-641-20008-1

¥2,640〔税込〕



「地域包括ケア」の落とし穴～介護の大転換が自治体を破綻に追い込む～

濱田 孝一 著
花伝社

「全国共通ケアシステム」から「地域包括ケアシステム」に舵を切った日本の介護制度。構造的問題を抱えたままの制度が、自治体財政破綻の引き金になろうとしている。後後期高齢社会を乗り越えるための、抜本的な対策を問う。

読売新聞 2024/02/25

2023:12./ 175p
978-4-7634-2095-4

¥1,980〔税込〕



二階から目薬

堀江 重郎 著
かまくら春秋社

「蟬とアンチエイジング」「医食同源を身近に」「我が断食の記」「鳩サプレーと理髪道具」…。ウェルビーイングを高める研究に没頭する医師が、病院の風景を中心に綴ったエッセイ集。『かまくら春秋』等掲載をもとに書籍化。

読売新聞 2024/02/25

2023:10./ 235p
978-4-7740-0885-1

¥1,870〔税込〕



小田原観光大使になれるかな(BAMBOO ESSAY SELECTION)

後藤 羽矢子 著
竹書房

小田原出身・在住の作者が満を持して送る、小田原紹介エッセイ。海も山も川も城もある!だけど今一つメジャーになり切れない小田原を、愛溢れる筆致でご紹介。

読売新聞 2024/02/25

2023:11./ 171p
978-4-8019-3777-2

¥1,320〔税込〕



レッツラゴン<4>

赤塚 不二夫 著
復刊ドットコム

ギャグ漫画の王様・赤塚不二夫自ら「最高傑作」と謳ったスラップスティックギャグ「レッツラゴン」を復刊。4は、「スケ番ケロ子」など、『週刊少年サンデー』1972年39号～1973年5・6合併号掲載作品を収録。

読売新聞 2024/02/25

2014:3./ 319p
978-4-8354-5061-2

¥2,090〔税込〕



もーれつア太郎<3>(竹書房文庫)

赤塚 不二夫 著

竹書房

読売新聞 2024/02/25

1994:11./ 275p

978-4-88475-939-1

¥619 [税込]



新編春の海～宮城道雄随筆集～(岩波文庫 緑 168-1)

千葉 潤之介 編

宮城 道雄 著

岩波書店

9歳ですっかり視力を失った後、箏(こと)の道に精進した宮城道雄(1894-1956)は、「水の変態」「春の海」「五十鈴川」など、今もひとびとに広く愛される美しい作品を数多くのこした。林芙美子との対談を含む44篇。

日本経済新聞 2024/02/03

2002:11./ 338p

978-4-00-311681-4

¥836 [税込]



日本人の英語(岩波新書 新赤版 18)

マーク・ピーターセン 著

岩波書店

著者が出会ってきた日本人の英語の問題点を糸口に、従来の文法理解から脱落しがちなポイントをユーモア溢れる例文で示しつつ、英語的発想の世界へ読者を誘う。

日本経済新聞 2024/02/03

1988:4./ 200p

978-4-00-430018-2

¥902 [税込]



ドキュメント 異次元緩和～10年間の全記録～(岩波新書 新赤版 1997)

西野 智彦 著

岩波書店

日本の経済社会に多大な影響を及ぼし続けている、黒田元日銀総裁による「異次元緩和」10年間の記録。その誕生と変貌、リフレ派の勃興と退潮、路線転換をめぐる水面下の攻防まで、世界的に例を見ない政策の舞台裏を徹底検証。

日本経済新聞 2024/02/03

2023:12./ 256p

978-4-00-431997-9

¥1,056 [税込]



「差別」のしくみ(朝日選書 1040)

木村 草太 著

朝日新聞出版

差別禁止の自明性に反比例するかのよう、差別の定義は曖昧さを帯びている。人種・民族、同性婚、夫婦別姓…。時代とともに変化する「差別の構造」を、気鋭の憲法学者が徹底検証する。『一冊の本』連載を単行本化。

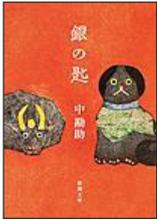
日本経済新聞 2024/02/03

2023:12./ 5p,302p

978-4-02-263130-5

¥1,980 [税込]





銀の匙(新潮文庫 な-95-1)

中 勘助 著
新潮社

古い茶箆筥の抽匣から見つかった銀の匙。それは、病弱だった私の口に薬を入れるため、伯母さんが探してきてくれたものだった。明治時代の東京の下町を舞台に、少年から青年に成長するまでを細やかに回想する自伝的作品。

日本経済新聞 2024/02/03

2016:10./ 238p
978-4-10-120571-7
¥473〔税込〕



アダム・スミス〜『道徳感情論』と『国富論』の世界〜(中公新書)

堂目 卓生 著
中央公論新社

経済成長の目的とは何か。人間の真の幸福はどこにあるか。経済学の祖、アダム・スミスの「道徳感情論」に示された人間観と社会観を通して「国富論」を読み直し、社会の秩序と繁栄に関するひとつの思想体系として再構築する。

日本経済新聞 2024/02/03

2008:3./ 297p
978-4-12-101936-3
¥968〔税込〕



謎の平安前期〜桓武天皇から『源氏物語』誕生までの200年〜(中公新書 2783)

榎村寛之 著
中央公論新社

奈良時代の宮廷を支えた女官たちはどこへ行ったのか。新しく生まれた摂関家とは何か。桓武天皇、在原業平、菅原道真といった個性的メンバーや、中宮定子、紫式部ら女性たちが織り成すドラマとは。平安前期の全てを解き明かす。

日本経済新聞 2024/02/03

2023:12./ 9p,278p
978-4-12-102783-2
¥1,100〔税込〕



リーマン・ショック・コンフィデンシャル<上> 追いつめられた金融エリートたち(ハヤカワ文庫 NF 401)

アンドリュー・ロス・ソーキン、加賀山 卓朗 著
早川書房

リーマン破綻は防げたのではないかと遂に明かされるスキャンダラスな内幕。ニューヨーク・タイムズの記者が、リーマン・ショックのセンセーショナルな裏側に、当事者たちのインタビューを通して鋭く切り込む。

日本経済新聞 2024/02/03

2014:2./ 476p
978-4-15-050401-4
¥1,034〔税込〕



リーマン・ショック・コンフィデンシャル<下> 倒れゆくウォール街の巨人(ハヤカワ文庫 NF 402)

アンドリュー・ロス・ソーキン、加賀山 卓朗 著
早川書房

迫り来る大恐慌の危機。エリート CEO たちはいかに考え、行動したか？ ニューヨーク・タイムズの記者が、リーマン・ショックのセンセーショナルな裏側に、当事者たちのインタビューを通して鋭く切り込む。

日本経済新聞 2024/02/03

2014:2./ 462p
978-4-15-050402-1
¥1,034〔税込〕





フード理論とステレオタイプ 50～物語をおいしく読み解く～(文春文庫 ふ38-2)

福田 里香 著

文藝春秋

善人はフードをおいしそうに食べる、正体不明者はフードを食べない、悪人はフードを粗末に扱う…。よく似た演出を 50 のステレオタイプに分析。フード目線から物語における登場人物の性格や感情、状況を読み解く。

日本経済新聞 2024/02/03

2024:1./ 335p
978-4-16-792162-0

¥902〔税込〕



9 7 8 4 1 6 7 9 2 1 6 2 0



場の論理とマネジメント

伊丹 敬之 著

東洋経済新報社

強い組織をつくる鍵は「場」にある。「場の論理とマネジメント」の考え方をさらに発展させ、場のマネジメントとしての包括的な説明を試み、正しい「日本的経営」の指針を提示する。

日本経済新聞 2024/02/03

2005:12./ 411p
978-4-492-52158-8

¥2,420〔税込〕



9 7 8 4 4 9 2 5 2 1 5 8 8



中央銀行～セントラルバンカーの経験した 39 年～

白川 方明 著

東洋経済新報社

第 30 代日本銀行総裁を務めた白川方明が、日本銀行に入行した 1972 年から現在までの日本経済や日本銀行の政策の歴史を個人的体験を踏まえて論じるほか、中央銀行のあり方や望ましい通貨管理制度について考察する。

日本経済新聞 2024/02/03

2018:10./ 784p
978-4-492-65485-9

¥4,950〔税込〕



9 7 8 4 4 9 2 6 5 4 8 5 9



財政金融政策の成功と失敗～激動する日本経済～

黒田 東彦 著

日本評論社

「過ち」から何を学ぶか。フロート制への移行から、ゼロ金利政策、量的緩和まで。政策決定・通貨外交の最前線で活躍した著者による、日本経済 30 年のエピソード分析。04 年 4 月～05 年 3 月『経済セミナー』連載を加筆改訂。

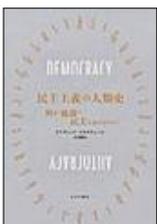
日本経済新聞 2024/02/03

2005:7./ 202p
978-4-535-55449-8

¥1,870〔税込〕



9 7 8 4 5 3 5 5 5 4 4 9 8



民主主義の人類史～何が独裁と民主を分けるのか?～

デイヴィッド・スタサヴェージ 著

みすず書房

初期デモクラシー(民主)を、古代中国、メソポタミア、アステカのオートクラシー(専制)と比較することで、民主主義が生き残る条件を探究。さらには、なぜ初期デモクラシーが近代デモクラシーに変質したのかを明らかにする。

日本経済新聞 2024/02/03

2023:11./ 496p
978-4-622-09659-7

¥5,500〔税込〕



9 7 8 4 6 2 2 0 9 6 5 9 7



経済学わが歩み～学者として教師として～(シリーズ「自伝」my life my world)

小宮 隆太郎 著
ミネルヴァ書房

研究・教育に力を注ぎ、門下から日本経済をリードする人物を多く輩出する一方、経済学の論客として、政策提言者として活躍し、「通念の破壊者」と呼ばれた経済学者・小宮隆太郎。その歩みと次代へのメッセージを語る。

日本経済新聞 2024/02/03

2013:10./ 228p
978-4-623-06713-8

¥3,080〔税込〕



9 784623 067138



もしも世界からカラスが消えたら

松原 始 著
エクスナレッジ

カラスがいないと生態系や人間社会、都市環境はどうなるのか？カラスを愛しすぎている鳥類学者が、ただの空想ではなく、膨大な資料や考察をもとに展開するサイエンス・フィクション。

日本経済新聞 2024/02/03

2023:12./ 277p
978-4-7678-3237-1

¥1,760〔税込〕



9 784767 832371



非凡の人三田平凡寺～趣味家集団「我楽他宗」の磁力～

チャプコヴァー・ヘレナ 編
荒俣 宏／安藤 礼二／夏目 房之介／藤野 滋／熊野 一紗／ソルター・レベッカ 著

かもがわ出版

身方も性別も国籍の壁も軽々と越え、文化ネットワーク「我楽他宗」を創設した三田平凡寺。大正昭和の奇人の実像に、孫である夏目房之介をはじめ、荒俣宏、安藤礼二らが迫る。本体は背表紙なし糸綴じ。

日本経済新聞 2024/02/03

2024:1./ 269p
978-4-7803-1308-6

¥3,960〔税込〕



9 784780 313086



矛盾の水害対策～公共事業のゆがみを川と森と人のいとなみからただす～

谷 誠 著
新泉社

川の氾濫による水害を取り上げ、江戸時代以降の水害対策の歴史から現行の河川整備事業の抱える問題点を整理し、国と利害関係者の対立が固定化した理由を考察。最新の水文学の成果も紹介し、望ましい水害対策の基本を提案する。

日本経済新聞 2024/02/03

2023:12./ 277p
978-4-7877-2315-4

¥2,750〔税込〕



9 784787 723154



侵略日記

アンドレイ・クルコフ 著
ホーム社

2022年の新年を祝う日々、2月24日のロシアによる侵攻、そして戦争が激化していく7月...。「ペンギンの憂鬱」の著者が、ウクライナに起きた出来事を観察し、戦時下を生々しく伝えるノンフィクション。

日本経済新聞 2024/02/03

2023:10./ 313p
978-4-8342-5375-7

¥2,970〔税込〕



9 784834 253757



評伝立花隆～遙かなる知の旅へ～

高澤 秀次 著

作品社

政治・脳死・宇宙・細胞・絵画・音楽・文学・教育…。関心領域のあらゆる事象を論じ続けた不世出の万能知識人、立花隆。その仕事と生涯を丹念に追った書き下ろし評伝。

日本経済新聞 2024/02/03

2023:11./ 308p
978-4-86182-997-0

¥2,970〔税込〕



ハリー・ポッターと賢者の石

J.K.ローリング 著

静山社

緑の眼に黒い髪、そして額に稲妻型の傷を持つ、魔法学校1年生のハリー・ポッターが、邪悪な力との運命の対決に打ち勝って行く、夢と冒険、友情の物語。スマーティーズ賞ほか受賞作。

日本経済新聞 2024/02/03

1999:12./ 462p
978-4-915512-37-7

¥2,420〔税込〕



アガサ・クリスティー～とらえどころのないミステリの女王～

ルーシー・ワスリー 著

原書房

全世界に読者をもつ巨匠アガサ・クリスティー。彼女は職業を聞かれれば無職と答え、書類には主婦と記入した。当時の社会階層やジェンダーのルールにより、平凡なふりをして生きた20世紀の偉大な作家の一生に光を当てる。

日本経済新聞 2024/02/03、産経新聞 2024/02/25

2023:12./ 469p 図版

16p
978-4-562-07362-7

¥3,520〔税込〕



昆虫絶滅

オリヴァー・ミルマン 著

早川書房

環境悪化により、昆虫の個体数が激減している。昆虫が失われた未来は、人間の生活にどれほど悪影響があるのか。虫たちによる知られざる人間社会への恩恵とは。環境ジャーナリストが昆虫と人類の理想的な共生社会を提言する。

日本経済新聞 2024/02/03、東京・中日新聞 2024/02/04

2023:12./ 292p
978-4-15-210289-8

¥2,530〔税込〕



世にもあいまいなことばの秘密(ちくまプリマー新書 442)

川添 愛 著

筑摩書房

「冷房を上げてください」「私には双子の妹がいます」「2日、5日、8日の午後が空いています」…。言葉のすれ違いの事例をもとに、言葉の複雑さや面白さを紹介する。問題とその答えも掲載。

日本経済新聞 2024/02/03、東京・中日新聞 2024/02/18、読売新聞 2024/02/18

2023:12./ 231p
978-4-480-68468-4

¥990〔税込〕





最強の恐竜(新潮新書 1027)

田中 康平 著
新潮社

6600 万年前に滅んだ恐竜たちは、驚きの能力を進化させていた! 「化石」を求めて世界各地に行く若手恐竜学者が、最新研究をふまえて様々なナンバーワン恐竜を選出。知力、体力、想像力の傑作ドキュメント。

日本経済新聞 2024/02/03、読売新聞 2024/02/25

2024:1./ 239p
978-4-10-611027-6

¥902〔税込〕



桃太郎のユーウツ

玄侑宗久 著
朝日新聞出版

復興住宅に住む老人がこだわる「火男おどり」、近未来<独り暮らし基本法>施行下で命の交流を問う「繭の家」…。福島在住の僧侶作家が震災、コロナ禍のもとで、大きなユーウツと見え隠れする希望を描く6つの作品集。

日本経済新聞 2024/02/10

2023:12./ 254p
978-4-02-251950-4

¥1,980〔税込〕



「断熱」が日本を救う～健康、経済、省エネの切り札～(集英社新書 1197)

高橋 真樹 著
集英社

じつは他の先進諸国と比べて著しく劣っている、日本の建築の断熱性能。断熱性能を向上させる具体策を紹介し、そうした実践が企業や自治体の経済を好転させ、持続可能なまちづくりにつながることを実証する。

日本経済新聞 2024/02/10

2024:1./ 232p
978-4-08-721297-6

¥1,210〔税込〕



ノースライト(新潮文庫 よ-28-3)

横山 秀夫 著
新潮社

一級建築士の青瀬が設計した新築の家。しかし、Y邸に越してきたはずの家族の姿はなく、一脚の「タウトの椅子」だけが浅間山を望むように残されていた。Y邸で何が起きたのか? 一家の行方は…。

日本経済新聞 2024/02/10

2021:12./ 546p
978-4-10-131673-4

¥935〔税込〕



「ダメ女」たちの人生を変えた奇跡の料理教室(新潮文庫 フ-63-1)

キャスリーン・フリン 著
新潮社

料理に対して苦手意識があるせいで、自信を持てずにいる女たちを集めて料理教室を開催した著者。料理の基礎を学び、できることがふえていくうちに、彼女たちの人生に変化があらわれて…。料理教室が生み出した奇跡を綴る。

日本経済新聞 2024/02/10

2024:2./ 361p
978-4-10-240421-8

¥880〔税込〕





盤上の向日葵<上>(中公文庫 ゆ 6-1)

袖月 裕子 著
中央公論新社

平成6年、身元不明の白骨死体が発見される。遺留品は名匠の将棋駒。刑事の石破と佐野は駒の足取りを追って日本各地に飛ぶ。折しも将棋界では、実業界から転身した異端の天才棋士・上条桂介が世紀の一戦に挑もうとしていた...

日本経済新聞 2024/02/10

2020:9./ 342p
978-4-12-206940-4
¥770〔税込〕



盤上の向日葵<下>(中公文庫 ゆ 6-2)

袖月 裕子 著
中央公論新社

昭和55年、棋士への夢を断った上条桂介は、駒打つ音に誘われて将棋道場に足を踏み入れる。そこで出会ったのは、伝説の真剣師・東明重慶だった。死体遺棄事件の捜査線上に、桂介と東明の壮絶すぎる歩みが浮かび上がり...

日本経済新聞 2024/02/10

2020:9./ 322p
978-4-12-206941-1
¥748〔税込〕



だまされ屋さん(中公文庫 ほ 15-2)

星野智幸 著
中央公論新社

70歳でひとり暮らしの秋代の家に、ある日現れた謎の男。娘の婚約者か、新手の詐欺か。それとも歪んだ一家に福音をもたらす救世主か？ 家族のあり方や人々のつながり方を問う長篇。

日本経済新聞 2024/02/10

2023:12./ 411p
978-4-12-207459-0
¥1,078〔税込〕



モサド・ファイル<2> イスラエル最強の女スパイたち

マイケル・バー＝ゾウハー／ニシム・ミシャル 著
早川書房

世界最強と謳われるイスラエル諜報特務庁「モサド」に属する女性諜報員たち。生まれや育ち、活動の動機や苦悩など、関係者の証言をもとにベールに包まれた真実を明かし、中東情勢の暗部を活写したインテリジェンス秘録。

日本経済新聞 2024/02/10

2023:11./ 390p
978-4-15-210282-9
¥3,300〔税込〕



そして、バトンは渡された(文春文庫 せ 8-3)

瀬尾 まいこ 著
文藝春秋

血の繋がらない親の間をリレーされ、4回も名字が変わった優子、17歳。父親が3人、母親が2人。だけどいつでも両親を愛し、愛されていた。身近な人が愛おしくなる、優しい物語。

日本経済新聞 2024/02/10

2020:9./ 425p
978-4-16-791554-4
¥847〔税込〕





戦略の要諦

リチャード・P・ルメルト 著

日経BP社

戦略の策定とは、意思決定ではない、目標設定でもない。卓越した優位性も長期的ビジョンも他社との比較も要らない。困難な課題に正面から向き合い最重要ポイントを見つけて集中攻撃する戦略と、その要諦について解説する。

日本経済新聞 2024/02/10

2023:11./ 525p
978-4-296-11752-9

¥2,420 [税込]



9 784296 117529



ソ連の歴史

シェイラ・フィッツパトリック 著

人文書院

革命前史からソ連の勃興、スターリンによる独裁支配、冷戦、予期せぬ崩壊、今日のロシアにみられるソ連の影まで。その複雑な歴史を生き生きとした筆致で描き出す、ソ連研究第一人者による最新のソ連全史。

日本経済新聞 2024/02/10

2023:11./ 252p
978-4-409-51099-5

¥2,860 [税込]



9 784409 510995



極東のシマフクロウ〜世界一大きなフクロウを探して〜

ジョナサン・C・スラート／大沢 章子 著

筑摩書房

絶滅の危機にあるシマフクロウを守りたい。アメリカ人の大学院生が、2006～2010年の5年間にわたり、主に冬のロシア極東沿海地方に通って実施した、シマフクロウの生態研究の記録。楽しくスリルに満ちた逸話が満載。

日本経済新聞 2024/02/10

2023:12./ 420p,6p
978-4-480-83726-4

¥3,300 [税込]



9 784480 837264



未婚と少子化〜この国で子どもを産みにくい理由〜(PHP新書 1382)

筒井 淳也 著

PHP研究所

「少子化対策=子育て支援」とだけ考え、手前の「未婚・晩婚問題」が改善されない現状は、少子化にまつわる誤解が招いた過ちの最たる例。データ・統計を用いてこれらの誤解を分析・検証し、議論のために必要な知見を提供する。

日本経済新聞 2024/02/10

2023:12./ 179p
978-4-569-85616-2

¥1,122 [税込]



9 784569 856162

魯山人の料理王国

北大路 魯山人 著

文化出版局

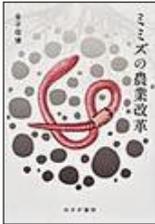
日本経済新聞 2024/02/10

1980:2./ 294p
978-4-579-20077-1

¥1,650 [税込]



9 784579 200771



ミミズの農業改革

金子信博 著
みすず書房

土壌生態系は長い間土を維持してきたが、人が農耕によって土に介入し始めると土壌劣化が始まった。耕さない農業は可能なのだろうか。ミミズをはじめとする土壌生態系と作物を共存させる、これからの再生型農業を提案する。

日本経済新聞 2024/02/10

2023:12./ 204p,12p
978-4-622-09640-5

¥3,300〔税込〕



出入国管理の社会史～戦後日本の「境界」管理～

李 英美 著
明石書店

第二次世界大戦後に形成された出入国管理政策が、とりわけ地域社会においてどのようなかたちで執行され、国民・国籍・人の移動をめぐる「境界」を立ち上げてきたのかを考察する。

日本経済新聞 2024/02/10

2023:5./ 284p
978-4-7503-5559-7

¥4,400〔税込〕



入管ブラックボックス～漂流する入管行政・翻弄される外国人～

木下洋一 著
合同出版

2021年3月、オーバーステイで収容されていた外国人女性が死亡したことで、その存在が注目されるようになった「入管(出入国在留管理庁)」。様々な問題点が指摘される入管の元職員が“ブラックボックス”の内側を伝える。

日本経済新聞 2024/02/10

2023:8./ 231p
978-4-7726-1537-2

¥1,870〔税込〕



ボーダー～移民と難民～

佐々 涼子 著
集英社インターナショナル

命からがら、日本にたどり着いた難民たちを、私たちはどう受け入れてきたのか？ 難民の受け入れ、入管の改善のために闘い続ける難民弁護士の奮闘の日々を、在留外国人への取材とともに綴る。『kotoba』掲載を書籍化。

日本経済新聞 2024/02/10

2022:11./ 267p
978-4-7976-7402-6

¥1,980〔税込〕



変容するインドネシア

小川忠 著
めこん

経済発展著しい現代インドネシア社会の変化の二大潮流、宗教復興とデジタル化について論じ、各地の具体的な変化を考察。対外関係におけるコロナ禍のインパクトなども検討する。『毎日アジアビジネスレポート』連載を書籍化。

日本経済新聞 2024/02/10

2023:12./ 469p
978-4-8396-0336-6

¥3,520〔税込〕





超人ナイチンゲール(シリーズケアをひらく)

栗原 康 著
医学書院

救うものが救われて、救われたものが救ってゆく。そんな新しい生の形式を日常生活につくりだせ。そう、看護は魂にふれる革命なのだ。鬼才文人アナキストが語る、かつてないナイチンゲール伝。テキストデータ引換券付き。

日本経済新聞 2024/02/10、東京・中日新聞 2024/02/18

2023:11./ 261p
978-4-260-05442-3

¥2,200 [税込]



9 7 8 4 2 6 0 0 5 4 4 2 3



働き方全史～「働きすぎる種」ホモ・サピエンスの誕生～

ジェイムス・スーズマン 著
東洋経済新報社

AI時代になってまで、私たちはなぜ「働くこと」にこだわるのか? 「働かない」ことは悪なのか? 経済学、社会人類学、物理学、進化生物学…。さまざまな学問分野の知見をもとに、「人と仕事」の関係を解き明かす。

日本経済新聞 2024/02/10、東京・中日新聞 2024/02/18、毎日新聞 2024/02/24

2024:1./ 384p
978-4-492-31555-2

¥3,080 [税込]



9 7 8 4 4 9 2 3 1 5 5 5 2



日本の建築(岩波新書 新赤版 1995)

隈 研吾 著
岩波書店

日本の建築家たちは、西欧の様式建築やモダニズム建築と出会ったあと、日本建築をどう捉え、表現してきたのか。彼らの葛藤や迷い、そして挑戦を読み解き、さらに社会を映す鏡として建築を見つめる。図版も多数収録。

日本経済新聞 2024/02/10、読売新聞 2024/02/11

2023:11./ 270p
978-4-00-431995-5

¥1,056 [税込]



9 7 8 4 0 0 4 3 1 9 9 5 5



密航のち洗濯～ときどき作家～

宋 恵媛/望月 優大 著
柏書房

1946年夏。朝鮮から日本へ、1人の男が密航した。やがて結婚して洗濯屋を始め…。日記等から彼が生きた植民地期の朝鮮と日本、戦後の東京でつくった家族一人ひとりの人生をたどる。『ニッポン複雑紀行』掲載を書籍化。

日本経済新聞 2024/02/10、毎日新聞 2024/02/17

2024:1./ 318p 図版 8
枚

978-4-7601-5556-9

¥1,980 [税込]



9 7 8 4 7 6 0 1 5 5 5 6 9



戦争語彙集

オスタップ・スリヴィンスキー 著
岩波書店

ウクライナを代表する詩人が、戦火を逃れてきた避難者の証言を聴き取り、77の単語と物語で構成した文芸ドキュメントを、ロバート キャンベルが翻訳。避難者たちの声をつぶさにたどる、翻訳者による手記も収録する。

日本経済新聞 2024/02/17

2023:12./ 286p
978-4-00-061616-4

¥2,200 [税込]



9 7 8 4 0 0 0 6 1 6 1 6 4



星の王子さま(岩波文庫 37-516-1)

サン＝テグジュペリ, A. de 著

岩波書店

サハラ砂漠に不時着した孤独な飛行士と、「ほんとうのこと」しか知りたがらない純粋な星の王子さまとのふれあいを描いた、永遠の名作。内藤濯による歴史的名訳。

「星の王子さま」誕生の秘話を満載したエッセイも収録。

日本経済新聞 2024/02/17

2017:7./ 220p
978-4-00-375131-2

¥572〔税込〕



「敗者」の精神史<上>(岩波現代文庫 学術 144)

山口 昌男 著

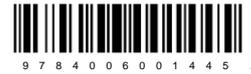
岩波書店

上巻では日比翁助の三越改革、淡島椿岳・寒月父子の知的バサラ術、大槻如電・高橋太華・山本覚馬ら東北諸藩出身者の生涯、大橋佐平・新太郎父子の博文館経営などのエピソードを通して、彼らの知的ダンディズムと開かれた精神を描く。

日本経済新聞 2024/02/17

2005:6./ 468p
978-4-00-600144-5

¥1,540〔税込〕



「敗者」の精神史<下>(岩波現代文庫 学術 145)

山口 昌男 著

岩波書店

下巻では土田杏村の信濃自由大学、吉野作造の明治文化研究会、明治・大正期の周縁化された画家たち、静岡に移住した旧幕臣の事績などを見直し、「敗者」の視点で近代日本を見つめてきた彼らの生き方の中から、われわれが学ぶべき知的ラディカリズムの原点を発掘する。

日本経済新聞 2024/02/17

2005:7./ 542p
978-4-00-600145-2

¥1,650〔税込〕



墓じまいラプソディ

垣谷美雨 著

朝日新聞出版

「絶対にお父さんと同じお墓には入りたくない!」四十九日の法要を目前に控え、突然明らかになった姑の遺言。騒動の行方をワクワクしながら見ていた五月だが...

『小説トリッパー』連載を単行本化。

日本経済新聞 2024/02/17

2023:12./ 301p
978-4-02-251954-2

¥1,760〔税込〕



道長ものがたり〜「我が世の望月」とは何だったのか〜(朝日選書 1039)

山本淳子 著

朝日新聞出版

平安時代を代表する権力者・藤原道長は、どんな思いで生き、死んでいったのか。

「御堂関白記」「小右記」「紫式部日記」「枕草子」「栄花物語」「大鏡」などをひもときながら、道長のこころの<ものがたり>を照らす。

日本経済新聞 2024/02/17

2023:12./ 6p,307p
978-4-02-263129-9

¥1,870〔税込〕



日本近代美術史論(講談社学術文庫)

高階 秀爾 著

講談社

日本経済新聞 2024/02/17

1990:9./ 456p
978-4-06-158941-4

¥1,174 [税込]



典座教訓/赴粥飯法(講談社学術文庫)

道元 著

講談社

飽食時代といわれる昨今の食生活を省みるとき、本書のもつ現代的意義は大きく、多くの示唆に富む必読の書といえよう。食と仏法の平等一如を唱えた道元の食の倫理。

日本経済新聞 2024/02/17

1991:7./ 270p
978-4-06-158980-3

¥1,177 [税込]



紫式部と藤原道長(講談社現代新書 2721)

倉本 一宏 著

講談社

無官で貧しい学者の娘が、なぜ世界最高峰の文学作品を執筆できたのか？ 後宮で、道長が紫式部に期待したこととは？ 紫式部と藤原道長のリアルな生涯を復元するとともに、2人の接点と交流についても探る。

日本経済新聞 2024/02/17

2023:9./ 334p
978-4-06-533254-2

¥1,320 [税込]



老虎残夢(講談社文庫 も 59-1)

桃野 雑派 著

講談社

碧い目をした武術の達人・梁泰隆。その弟子で決して癒えぬ傷をもつ蒼紫苑。料理上手な泰隆の養女・梁恋華。雪の降る夜、3人の平穏な暮らしは打ち破られた。師が息絶えたのは、圧倒的な密室だった...

日本経済新聞 2024/02/17

2024:2./ 380p
978-4-06-534278-7

¥869 [税込]



峠<上>(新潮文庫)

司馬 遼太郎 著

新潮社

日本経済新聞 2024/02/17

2003:10./ 511p
978-4-10-115240-0

¥935 [税込]



峠<中>(新潮文庫)

司馬 遼太郎 著

新潮社

日本経済新聞 2024/02/17

2003:10./ 571p
978-4-10-115241-7

¥935 [税込]





峠<下>(新潮文庫)

司馬 遼太郎 著

新潮社

日本経済新聞 2024/02/17

2003:10./ 445p
978-4-10-115242-4

¥781〔税込〕



毛沢東～革命と独裁の原点～

興梠一郎 著

中央公論新社

毛沢東が暴力革命を選んだツケを、中国は今日まで払い続けている。若き毛沢東が共産主義者になる前に書いた手紙、新聞記事、論考および旧ソ連の史料など膨大な資料を駆使し、独裁国家のルーツを明らかにする。

日本経済新聞 2024/02/17

2023:12./ 444p
978-4-12-005720-5

¥3,300〔税込〕



外事警察秘録

北村 滋 著

文藝春秋

中国、ロシア、北朝鮮…。海外からの脅威に日本の「外事警察」はいかに対峙してきたのか。警察官僚、前国家安全保障局長の著者が、スパイとの闘い、水面下での極秘任務の数々を明かす。『文藝春秋』掲載を書籍化。

日本経済新聞 2024/02/17

2023:12./ 291p
978-4-16-391788-7

¥1,760〔税込〕



坂の上の雲<1> 新装版(文春文庫)

司馬 遼太郎 著

文芸春秋

松山出身の歌人正岡子規と軍人の秋山好古・真之兄弟の三人を軸に、維新から日露戦争の勝利に至る明治日本を描く大河小説。

日本経済新聞 2024/02/17

1999:1./ 350p
978-4-16-710576-1

¥803〔税込〕



秘密の花園

朝井まかて 著

日経BP社

馬琴は当代一の戯作者・山東京伝の門をたたき、戯作の道に踏み出した。人気作者になるが、馬琴は滝沢家再興の夢を捨てず、締切に追われながら家計簿をつけ、庭の花園で草花を丹精し…。『日本経済新聞』連載を単行本化。

日本経済新聞 2024/02/17

2024:1./ 466p
978-4-296-11866-3

¥2,200〔税込〕





日本のクラシック音楽は歪んでいる～12の批判的考察～(光文社新書 1290)

森本恭正 著
光文社

これまで日本で検証されてこなかったクラシック音楽の「真実」とは-。日本人は何を見逃し、聴き逃してきたのか。作曲家・指揮者として活躍する著者が20年を超える思考の上に辿り着いた、西洋音楽の本質を示す。

2024:1./ 237p
978-4-334-10196-1

¥968〔税込〕



日本経済新聞 2024/02/17



妻に稼がれる夫のジレンマ～共働き夫婦の性別役割意識をめぐって～(ちくま新書 1773)

小西 一禎 著
筑摩書房

バリバリ稼ぐ妻を支えるため、仕事を離れて主夫となり、子育てをメインで担う夫たち。収入が下がり、社会的な立場が不安定になったとき、彼らの胸に去来するものとは。主夫たち12人にインタビューし、本音と葛藤を明かす。

2024:1./ 247p,3p
978-4-480-07605-2

¥990〔税込〕



日本経済新聞 2024/02/17



眼の隠喩～視線の現象学～(ちくま学芸文庫)

多木 浩二 著
筑摩書房

日本経済新聞 2024/02/17

2008:12./ 399p
978-4-480-09188-8

¥1,540〔税込〕



東京の地霊(ゲニウス・ロキ)(ちくま学芸文庫)

鈴木 博之 著
筑摩書房

日本経済新聞 2024/02/17

2009:2./ 300p
978-4-480-09201-4

¥1,210〔税込〕



眼の神殿～「美術」受容史ノート～(ちくま学芸文庫 キ30-1)

北澤 憲昭 著
筑摩書房

高橋由一の「螺旋展画閣」。その形象をなぞるようにして、「美術」概念の受容にまつわる思考が結晶化してゆく-。制度-施設史を支柱として、さまざまな次元にわたる明治期の史料がざわめきたつライブ感に充ちた歴史叙述。

日本経済新聞 2024/02/17

2020:12./ 460p
978-4-480-51023-5

¥1,650〔税込〕



楽園～グルナ・コレクション～

アブドゥルラザク・グルナ 著
白水社

20世紀初頭、現在のタンザニアを舞台に、少年ユスフの成長と東アフリカ沿岸地域の歴史的な大転換期を描く。巻末に「ノーベル文学賞受賞記念講演」を収録。

日本経済新聞 2024/02/17

2023:12./ 294p
978-4-560-09462-4

¥3,520〔税込〕



美術という見世物～油絵茶屋の時代～(イメージ・リーディング叢書)

木下 直之 著

平凡社

日本経済新聞 2024/02/17

1993:6./ 288p

978-4-582-28471-3

¥2,883 [税込]



紫式部 女房たちの宮廷生活(平凡社新書 1042)

福家 俊幸 著

平凡社

宮廷サロンはどのような場か、女房とはどのような存在か。「源氏物語」の作者紫式部を中心に、日記や家集の記録から、その生涯や宮廷生活、物語創作など、宮仕えの女房たちの実像を描き出す。

日本経済新聞 2024/02/17

2023:11./ 262p

978-4-582-86042-9

¥1,078 [税込]



ゴキブリ・マイウェイ～この生物に秘められし謎を追う～

大崎 遥花 著

山と溪谷社

翅の食い合いはするし、卵胎生だし、子育てもするし、浮気もしない。それらを「全部盛り」した面白い生き物、ゴキブリ。論文書くのツラすぎる、時間もお金も足りない、けど…。行動生態学の最前線と研究世界の歩き方を綴る。

日本経済新聞 2024/02/17

2023:12./ 271p

978-4-635-06315-9

¥1,760 [税込]



芸術と幻影～絵画的表現の心理学的研究～(美術名著選書)

アーンスト・H.J.ゴンブリッチ 著

岩崎美術社

日本経済新聞 2024/02/17

1979:11./ 531p

978-4-7534-1022-4

¥11,000 [税込]



寄り添う言葉(インターナショナル新書 135)

永田 和宏/小池 真理子/垣添 忠生/小池 光/徳永 進 著

集英社インターナショナル

最後にどのような言葉をかけたらよかったのだろう…。歌人である妻、河野裕子をかんで亡くした永田和宏が、作家の小池真理子ら伴侶を亡くした人や終末医療に携わる医師と語り合う。『kotoba』連載を加筆し新書化。

日本経済新聞 2024/02/17

2024:2./ 237p

978-4-7976-8135-2

¥979 [税込]



大江戸トイレ事情(同成社江戸時代史叢書 36)

根崎 光男 著

同成社

大都市・江戸に暮らす人々はどうやって用を足していた? 様々な史料をもとに、トイレと公衆衛生にまつわる人や政治・経済のしくみを取りあげながら、江戸時代に物質循環型社会が成立していた様子を紹介する。

日本経済新聞 2024/02/17

2024:1./ 9p,243p

978-4-88621-928-2

¥2,640 [税込]





家を失う人々～最貧困地区で生活した社会学者、1年余の記録～

マシュー・デスモンド 著

海と月社

法外な家賃に厳しい取り立て-これでも“自己責任”なのか？ アメリカの貧困層をさらなる困難へと追いやるプロセスを赤裸々に記録し、「搾取と強欲な市場」を暴き出す。貧困問題の解決に鋭く切り込む世界的名著。

日本経済新聞 2024/02/17

2023:11./ 565p
978-4-903212-82-1

¥2,860〔税込〕



月5万円から始める「リアルすぎる」1億円の作り方～新NISA 完全攻略～

山口 貴大（ライオン兄さん） 著

KADOKAWA

2024年からは始まる新NISAで老後資産1億円を作るには？新NISAの仕組みをわかりやすく説明するとともに、年齢や入金力に合わせてリスクとリターンを最適化した新NISAの資産形成法を解説する。

日本経済新聞 2024/02/24

2023:11./ 263p
978-4-04-606541-4

¥1,650〔税込〕



世界を、こんなふうに見てごらん(集英社文庫 ひ36-1)

日高 敏隆 著

集英社

昆虫、猫や犬など動物とおしゃべりするには、観察が一番だとわかった。これが、いきものを見つめる原点…。不思議と驚きにみちた世界を「なぜ？」と問い続けた動物行動学者が、自然の魅力をやさしい言葉で綴る。

日本経済新聞 2024/02/24

2013:1./ 204p
978-4-08-745027-9

¥605〔税込〕



戦後政治と温泉～箱根、伊豆に出現した濃密な政治空間～

原武史 著

中央公論新社

吉田茂、鳩山一郎、石橋湛山、岸信介、池田勇人。戦後のある一時期、首相たちは熱海、伊豆、箱根の温泉地で政治を行っていた。政治家や官僚の日記、書簡、回想録、新聞記事などから、知られざる日本政治の一断面を炙り出す。

日本経済新聞 2024/02/24

2024:1./ 301p
978-4-12-005731-1

¥2,200〔税込〕



福翁夢中伝<上>

荒俣 宏 著

早川書房

脳溢血で倒れるも奇跡的に回復した福澤諭吉。諭吉は速記者の矢野を相手に、最後の著作「福翁夢中伝」を語り始める…。福澤諭吉の生涯を、荒俣宏が膨大な資料を渉猟して著した評伝小説。『ミステリマガジン』連載に加筆修正。

日本経済新聞 2024/02/24

2023:12./ 372p
978-4-15-210287-4

¥1,980〔税込〕





福翁夢中伝<下>

荒俣 宏 著
早川書房

政変により論吉派の大隈重信が失脚し、慶應義塾出身の議員・官僚は追放。論吉も反政府陣営の急先鋒に仕立て上げられ…。福澤諭吉の生涯を、荒俣宏が膨大な資料を渉猟して著した評伝小説。『ミステリマガジン』連載に加筆修正。

日本経済新聞 2024/02/24

2023:12./ 332p
978-4-15-210288-1

¥1,980〔税込〕



化学の授業をはじめます。

ボニー・ガルマス 著
文藝春秋

1960年代アメリカ。才能ある化学者のエリザベスは未婚のシングルマザーになったうえ失職してしまう。ひょんなことから得た仕事は料理番組の出演者。科学的に料理を説くエリザベスは意外にも視聴者の心をつかみ…。

日本経済新聞 2024/02/24

2024:1./ 535p
978-4-16-391797-9

¥2,750〔税込〕



60代からの資産「使い切り」法〜今ある資産の寿命を伸ばす賢い「取り崩し」の技術〜

野尻哲史 著
日経BP社

「毎月定額を引き出す」に潜むリスクとは？ 資産運用はいつまで続けるべき？ 年金受給は65歳からと70歳からどちらがおトク？ 60代からの資産活用の基本的な考え方を紹介する。

日本経済新聞 2024/02/24

2023:8./ 275p
978-4-296-11817-5

¥1,760〔税込〕



Qアノンの正体〜陰謀論が世界を揺るがす〜

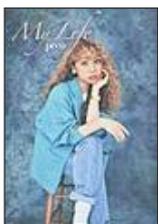
ウィル・ソマー 著
河出書房新社

荒唐無稽な陰謀論は、いつしか現実世界に影響を及ぼす政治運動となった。黒幕は誰か。普通の人々を信仰・凶行に駆り立てたものは何か。Qアノン陣営から「天敵」とされたジャーナリストが、Qアノンのペールを暴く。

日本経済新聞 2024/02/24

2023:11./ 307p
978-4-309-23143-3

¥2,970〔税込〕



My Life

peco 著
祥伝社

子ども時代、パートナーryuchellとの出会い、新しい家族になるという決断、子育て、新しいブランド…。カリスマ読者モデルでファッションブランドを手掛けるpecoが、今までの自分のすべてを綴る。

日本経済新聞 2024/02/24

2024:2./ 255p
978-4-396-61817-9

¥1,650〔税込〕





87歳、現役トレーダーシゲルさんの教え～資産18億円を築いた「投資術」

～

藤本 茂 著

ダイヤモンド社

資産18億円を築き「日本のパフェット」とも呼ばれる、87歳の現役デイトレーダー・シゲルさん。シゲル流「1:2:6」のルールなどの投資法から日常生活までを紹介する。切り取り式の「シゲルさんの1日」付き。

日本経済新聞 2024/02/24

2023:11./277p
978-4-478-11918-1

¥1,760〔税込〕



小麦の地政学～世界を動かす戦略物資～

セバステイアン・アビス 著

原書房

世界の食料安全保障の要ともいえる「小麦」は、世界中で消費量が増え続けているうちに、輸出国は限られている。国際戦略の専門家が、世界の主要生産国間の力関係、大量輸入に頼る国々の脆弱さを明らかにする。

日本経済新聞 2024/02/24

2023:12./280p
978-4-562-07383-2

¥2,970〔税込〕



50歳からの新NISA活用法～1冊でまるわかり～(PHPビジネス新書 460)

中野 晴啓 著

PHP研究所

運用期間にも期限がなく、税金ゼロで運用できる投資額も1人1800万円へと大幅にアップした新NISA。制度改正の内容・経緯から、50歳からでも十分間に合う老後資金作りのための活用法までを解説する。

日本経済新聞 2024/02/24

2023:6./212p
978-4-569-85498-4

¥979〔税込〕



メタゾアの心身問題～動物の生活と心の誕生～

ピーター・ゴドフリー＝スミス 著

みすず書房

タコの経験、ヤドカリの経験…。動物たちを独特な「経験する存在」にしているものは何だろう？ 現生の生物たちを手がかりに、さまざまな感性のパラダイム、進化的起源を探り、心の発生についての包括的な説明を試みる。

日本経済新聞 2024/02/24

2023:12./291p,60p
978-4-622-09662-7

¥3,520〔税込〕



宇宙人のためのせんりゅう入門

暮田 真名 著

左右社

川柳人・暮田真名と、マンションの入り口で拾った宇宙人・せんりゅうの奇妙な共同生活が幕を開けた…。2人の対話形式で、川柳の作り方、句会などについて解説する。シュールなのになぜか胸が熱くなる川柳入門。

日本経済新聞 2024/02/24

2023:12./191p
978-4-86528-396-9

¥1,980〔税込〕





人間標本

湊 かなえ 著

KADOKAWA

蝶の目に映る世界を欲した私は、ある日天啓を受ける。あの美しい少年たちは蝶なのだ。5体目の標本は完成したが、再び飢餓感が膨れ上がる。幼い時からその成長を目に焼き付けてきた息子の姿もまた、蝶として私の目に映り…。

毎日新聞 2024/02/03

2023:12./ 277p
978-4-04-114223-3

¥1,870〔税込〕



風立ちぬ・美しい村 改版(新潮文庫 ほ-1-2)

堀 辰雄 著

新潮社

毎日新聞 2024/02/03

2011:10./ 233p
978-4-10-100402-0

¥473〔税込〕



山県有朋～明治国家と権力～(中公新書 2777)

小林道彦 著

中央公論新社

陸軍卿・内相として徴兵制・地方自治制を導入し、枢密院議長を務め、長州閥陸軍や山県系官僚閥を背景に、最有力の元老として長期にわたり日本政治を動かした山県有朋。その生涯を通して、興隆する近代日本の光と影を描く。

毎日新聞 2024/02/03

2023:11./ 7p,300p
978-4-12-102777-1

¥1,056〔税込〕



楽屋の蟹～中村雅楽と日常の謎～(河出文庫 と 11-2)

新保 博久 編

戸板 康二 著

河出書房新社

歌舞伎界の名優・中村雅楽のもとには、どこにしようと謎が舞い込み…。入院中のベッド上で謎解きを披露する直木賞受賞作「團十郎切腹事件」をはじめ、「グリーン車の子供」「むかしの弟子」など全11篇を収録する。

毎日新聞 2024/02/03

2024:1./ 366p
978-4-309-42077-6

¥1,155〔税込〕



経済学の学び方～将来の経済学研究者のために～

根井雅弘 著

光文社

ミクロもマクロも豊富になった経済学のカリキュラム。だが、近年は経済(思想)史が軽視されがちである。基礎を固め、歴史と現在を切り結び、未来を透徹する、経済学の泰斗をめざす人のための入門書。

毎日新聞 2024/02/03

2023:10./ 225p
978-4-334-10102-2

¥2,420〔税込〕





シャーロック・ホームズとジェレミー・ブレット

モーリーン・ウィテカー 著

原書房

英国グラナダTV制作「シャーロック・ホームズ」シリーズで原作のイメージそのままのホームズを体現し、人々を魅了したジェレミー・ブレット。本人・共演者・制作陣の言葉と共に作品と彼の素顔に迫る。カラー図版も多数収録。

毎日新聞 2024/02/03

2023:11./ 453p
978-4-562-07360-3

¥2,970〔税込〕



ぼくのコーヒー地図

岡本 仁 著

平凡社

コーヒーを飲む時間を幸福にしてくれるものは何だろう? 毎日のようにいろいろな場所でコーヒーを飲んでいる編集者・岡本仁によるコーヒー店案内。日本全国 58 都市・166 店を紹介する。

毎日新聞 2024/02/03

2023:9./ 327p
978-4-582-54474-9

¥2,420〔税込〕



挿絵画家風間完～昭和文学を輝かせ、美人画を描き続けた人生～

風間 研 著

平凡社

戦禍で過ごした青春、パリ暮らし…。五木寛之、松本清張、向田邦子など、昭和を代表する文芸作品の挿絵や装画を手がけた人気画家、風間完の生涯の仕事、画家の長子であり、フランス文学研究者である著者がひもとく。

毎日新聞 2024/02/03

2023:12./ 294p
978-4-582-65123-2

¥2,970〔税込〕



地衣類、ミニマルな抵抗

ヴァンサン・ゾンカ 著

みすず書房

世界の縁に身を置き、抵抗の姿勢を崩さない生物である地衣類。その環境詩学を東西の文学や思考と現代アートに見出し、そこに共生の思考をさぐり、人新世の未来に伝える野心作。

毎日新聞 2024/02/03

2023:10./ 392p
978-4-622-09651-1

¥4,950〔税込〕



暗き麗女たち

パイ インターナショナル 編

パイインターナショナル

日本画、洋画など、さまざまなジャンルで活躍する人気作家・若手作家による、現代の憂いをまとった美しい女性たちの作品を、作家ごとに多数掲載した作品集。暗くも魅力的な麗女たちの世界、陰影の美の世界を味わえる一冊。

毎日新聞 2024/02/03

2023:11./ 255p
978-4-7562-5714-7

¥3,960〔税込〕





確かなリスの不確かさ～動物哲学物語～

ドリアン 助川 著
集英社インターナショナル

「ここに在る」ことを自問するリス、暗闇から光の世界へ飛び出し「存在の本質」を探すコウモリ…。日本・南米の動物の生態に哲学のひとさじを加えた、明日を「生きる」意味が見える物語。『青春と読書』連載を加筆・修正。

毎日新聞 2024/02/03

2023:10./ 295p
978-4-7976-7437-8

¥1,999〔税込〕



マーガレット・アトウッド『侍女の物語』を読む～フェミニスト・ディストピアを越えて～(水声文庫)

加藤めぐみ 著
水声社

男性優位の独裁国家を描いた「侍女の物語」「誓願」が、なぜ今日、フェミニスト・プロテスト文化の象徴として耳目を集めるのか。現実世界の諸相を束ねて生み出された物語世界に、現在そして未来を生き抜くための希望を探る。

毎日新聞 2024/02/03

2023:12./ 326p
978-4-8010-0685-0

¥3,850〔税込〕



老いをみつめる脳科学

森 望 著
メディカル・サイエンス・インターナショナル

脳全体の構造と神経細胞「ニューロン」について説明したうえで、オートファジー、ニューロンの中でのゴミ処理といった脳の老化について生理的な観点から重要な項目を取り上げながら、研究の現場でのプロセスを交え解説する。

毎日新聞 2024/02/03

2023:12./ 3p,331p
978-4-8157-3091-8

¥2,970〔税込〕



明朝体の教室～日本で150年の歴史を持つ明朝体はどのようにデザインされているのか～

鳥海 修 著
Book&Design

明朝体の世界へようこそ！書体デザインの第一人者・鳥海修が、字工房が作った游明朝体を基準にして、本文用明朝体の制作手順から、各書体の比較検討、文字の歴史までわかりやすく解説します。

毎日新聞 2024/02/03

2024:1./ 340p,9p
978-4-909718-10-5

¥3,520〔税込〕



遺書

松本人志 著
朝日新聞出版
毎日新聞 2024/02/10

1994:10./ 164p
978-4-02-256809-0

¥1,068〔税込〕





24H Kyoto guide~Perfect trip for beginners & repeaters~<最新 2024-2025>

朝日新聞出版 著

朝日新聞出版

12 時、京情緒と味わう町家ランチ。13 時、すてきなお寺アート。16 時、個性的なミニシアターで映画鑑賞。大切な人にこそ教えたい、とっておきの京都の楽しみ方を地元人の目線でガイド。データ:2023 年 8~10 月現在。

毎日新聞 2024/02/10

2023:11./ 192p
978-4-02-334145-6

¥1,540〔税込〕



9 7 8 4 0 2 3 3 4 1 4 5 6



グリーン・レクイエム 新装版(講談社文庫 あ 23-10)

新井 素子 著

講談社

幼いころに迷い込んだ山奥の洋館で出会った、深い緑の髪の少女に信彦は心を奪われる。やがて時を経て再び少女に出会ったとき、彼女に課せられた運命が 2 人を飲み込もうとする。全 3 編とあとがきを収録。

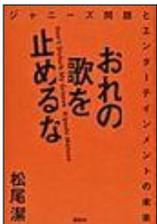
毎日新聞 2024/02/10

2021:4./ 300p
978-4-06-522539-4

¥737〔税込〕



9 7 8 4 0 6 5 2 2 5 3 9 4



おれの歌を止めるな~ジャニーズ問題とエンターテインメントの未来~

松尾 潔 著

講談社

芸能と社会的公正を地続きで考えよう。ジャニーズ問題とパレスチナ危機を同じ口で語ろう。ジャニーズ問題への提言を続ける音楽プロデューサーによる「やわらかな抵抗」のすすめ。近田春夫らとの鼎談も収録。

毎日新聞 2024/02/10

2024:1./ 253p
978-4-06-534434-7

¥1,760〔税込〕



9 7 8 4 0 6 5 3 4 4 3 4 7



柳田國男(Century Books 人と思想 199)

菅野覚明 著

清水書院

日本民俗学の創始者として知られる柳田國男。広大で奥の深い柳田の思想世界は、どのような体系性を持つのか。彼の探求を貫くライトモチーフは何か。「一天才の個人芸」とも評される柳田学の全貌を明快に描いた評伝。

毎日新聞 2024/02/10

2023:9./ 371p,11p
978-4-389-42199-1

¥1,320〔税込〕



9 7 8 4 3 8 9 4 2 1 9 9 1



まちかどガードパイプ図鑑

岡元 大 著

創元社

歩道と車道の境目や交差点のカドに立っているパイプ製の柵「ガードパイプ」。花や動物、曲線、直線など、さまざまなモチーフで人知れず個性を放つ道路の名脇役たちを写真で紹介する。海外のガードパイプも収録。

毎日新聞 2024/02/10

2023:12./ 159p
978-4-422-24111-1

¥1,870〔税込〕



9 7 8 4 4 2 2 2 4 1 1 1 1



三十九階段

ジョン・バカン 著

東京創元社

第一次世界大戦前夜の英国。退屈しきっていた青年ハネーのもとに謎のアメリカ人が来訪する。数日後、彼は死体となって発見された。殺人の容疑をかけられ追われるハネーは、ヨーロッパを世界大戦に巻き込む陰謀を知り…。

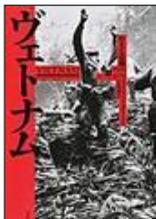
毎日新聞 2024/02/10

2024:1./ 189p
978-4-488-01135-2

¥1,980〔税込〕



9 7 8 4 4 8 8 0 1 1 3 5 2



ヴェトナム～壮大な悲劇 1945-1975～<上>

マックス・ヘイスティングス 著

白水社

ヴェトナム戦取材に携わった英国のジャーナリストが悲劇を再構築。戦場で何があったのか、戦闘に至る歴史的背景と政治的思惑、その結果もたらされたものを事実在即して描写し、悲劇の本質に迫る。

毎日新聞 2024/02/10

2023:11./ 582p
978-4-560-09460-0

¥5,940〔税込〕



9 7 8 4 5 6 0 0 9 4 6 0 0



ヴェトナム～壮大な悲劇 1945-1975～<下>

マックス・ヘイスティングス 著

白水社

ヴェトナム戦取材に携わった英国のジャーナリストが悲劇を再構築。膨大な資料を渉猟し、米越仏の生存者にインタビューを敢行。生々しい戦闘シーンをつぶさに再現し、戦禍にあえぐ人々の内面までを浮き彫りにする。

毎日新聞 2024/02/10

2023:12./ 604p
978-4-560-09461-7

¥6,380〔税込〕



9 7 8 4 5 6 0 0 9 4 6 1 7



自由が丘画廊ものがたり～戦後前衛美術と画商・実川暢宏～

金丸 裕子 著

平凡社

アーティストたちが次々と自由な表現を試みた日本の前衛美術運動。その渦中を生きた伝説的画商・実川暢宏の回想を軸に、アーティスト、ギャラリスト、そしてコレクターたちの青春群像を生き生きと描き出す。

毎日新聞 2024/02/10

2023:10./ 279p
978-4-582-27337-3

¥2,750〔税込〕



9 7 8 4 5 8 2 2 7 3 3 7 3



シューベルトの手当て

クレール・オペール 著

アルテスパブリッシング

自閉症の若者、認知症の高齢者、終末期の患者たちに寄り添い、チェロを奏でつづける。その調べは患者の痛みを軽減し、不安も解消し…。演奏家であり、アートセラピストである著者が起こした奇跡の音楽療法の物語。

毎日新聞 2024/02/10

2023:11./ 237p
978-4-86559-285-6

¥2,640〔税込〕



9 7 8 4 8 6 5 9 2 8 5 6



ジョルジュ・サンドセレクション<別巻> サンド・ハンドブック

持田 明子、大野 一道 編

藤原書店

サンドの全く意外な作品の数々を一挙に紹介し、根強いステレオタイプのサンド像を一新する作品集。別巻には、新しいサンド像を語ったフランスの歴史家ペローのラジオ講演などのほか、主要作品紹介を収録する。

毎日新聞 2024/02/10

2023:12./ 377p
978-4-86578-409-1

¥4,620〔税込〕



母の最終講義

最相葉月 著

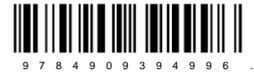
ミシマ社

あの介護の日々は、母から私への教育だった。両親の介護と別れまでの日々を軸に、取材で出会った人々や旅のこと、失敗談などをまとめたエッセイ集。

毎日新聞 2024/02/10

2024:1./ 172p
978-4-909394-99-6

¥1,980〔税込〕



1945年、26日間の独立～韓国建国に隠された左右対立悲史～

吉 倫亨 著

Hagazussa Books

1945年8月15日。戦争が終結し、独立国家の建国に向けて動き出した朝鮮半島は、なぜ南北の分断と対立を引き起こしたのか。朝鮮半島が「悲劇の結末」を迎えるまでの26日間と、そこに潜む韓国現代史の起源を探る。

毎日新聞 2024/02/10

2023:11./ 397p
978-4-910034-18-8

¥2,750〔税込〕



山と言葉のあいだ

石川美子 著

ベルリプロ

パリ、アヴィニョン、スタンダール、須賀敦子…。深い外国体験と東西文学の素養を持つフランス文学者が、ゆくりなく想起される過去の風景や言葉をきっかけに、人生の美しさと哀しみを綴った11の物語を収録。

毎日新聞 2024/02/10

2023:11./ 284p
978-4-9913305-0-6

¥2,860〔税込〕



空よ～歌集～

酒井 佑子 著

砂子屋書房

寝たれてやはらかき猫を抱き起こす一人子を昔いだきしごとく 空よおまへの下にゐることのあと幾日かどこまでも空 第3歌集以降、2022年に逝去するまでの16年間の作品520余首を収録した遺歌集。

毎日新聞 2024/02/12

2023:12./ 210p
978-4-7904-1878-8

¥3,300〔税込〕





戦後俳句史 nouveau1945-2023～三協会統合論～

筑紫 磐井 著
ウエップ

「第二芸術」とその論を捉え直し、戦後俳句の3つの典型、「社会性俳句」「前衛俳句」「心象伝統俳句」の基準とダイナミズムを詳らかに提示。それらを踏まえて戦後俳壇の流れを辿り、詠法の検証などもおこなう。

毎日新聞 2024/02/12

2023:12./ 379p
978-4-86608-152-6

¥3,300〔税込〕



蜘蛛の歌～歌集～(コスモス叢書 第1232篇)

奥村 晃作 著
六花書林

ビートルズ、ルイ・アームストロングの曲楽し意味分からねど曲が楽しく マスクする顔に馴れたるわたくしに真顔は時にコワイと思う 2022年初夏～2023年初秋の作品の中から353首を収めた第19歌集。

毎日新聞 2024/02/12

2023:12./ 231p
978-4-910181-59-2

¥2,860〔税込〕



雪道の交叉～句集～

中川 純一 著
朔出版

昼顔や視線かすかな毒を投げ ティファニーのティアラさながら氷柱に月 春耕の畝のゴッホの筆致もて 小鳥来る相方あてもあなくても 白鳥を彫り起こしたる朝日かな 2000年から2022年までの作品をまとめた第2句集。

毎日新聞 2024/02/12

2024:1./ 253p
978-4-911090-02-2

¥2,750〔税込〕



パリの「敵性」日本人たち～脱出か抑留か～

藤森 晶子 著
岩波書店

終戦直後、パリの日本人たちはいったい何を経験したのか。1944年8月、ナチからの解放とともに「敵性」外国人として拘束された日本人たちの足跡を、公文書を手掛かりにたどる歴史ドキュメンタリー。

毎日新聞 2024/02/17

2023:12./ 206p
978-4-00-061621-8

¥2,420〔税込〕



仕事のために生きてない

安藤 祐介 著
KADOKAWA

社長案件のための新設部署に異動となった勇吉。これまでは趣味のバンド活動が最優先だったが、不毛かつ膨大な仕事に振り回される毎日に。そんな中、バンド仲間が余命宣告を受けたのを機に、自分はどうか生きていかを考え始め...

毎日新聞 2024/02/17

2023:12./ 258p
978-4-04-114264-6

¥1,980〔税込〕





小公女(新潮文庫 ハ-10-1)

フランシス・ホジソン・バーネット 著

新潮社

父親と離れ、ロンドンの学校で暮らすことになった少女セーラ。しかし、破産した父親の死によって、セーラは天涯孤独の身になり、召使いとしてこき使われるようになるが…。苦境に負けない少女を描く永遠の名作を新訳。

毎日新聞 2024/02/17

2014:11./ 338p
978-4-10-221403-9

¥693〔税込〕



ツクサナツコの一生

益田 ミリ 著

新潮社

マスク生活 2 度目の春。32 歳のナツコは漫画を描く。世界と、誰かと、自分と“わかり合う”ために。自分の「好き」を大切に生きる人に贈るストーリー・マンガ。『小説新潮』連載を加筆し単行本化。

毎日新聞 2024/02/17

2023:6./ 269p
978-4-10-351982-9

¥1,980〔税込〕



わたしが誰かわからない～ヤングケアラーを探す旅～(シリーズケアをひらく)

中村 佑子 著

医学書院

葛藤と喜び、苦しみと快樂、引き裂かれてゆく感情の双方の極…。精神疾患を抱える家族に付き添うヤングケアラーの内的時間をめぐる、冒険的セルフドキュメント。『かんかん!』等掲載に書き下ろしを加え書籍化。

毎日新聞 2024/02/17

2023:11./ 219p
978-4-260-05441-6

¥2,200〔税込〕



教育投資の経済学(日経文庫 F78)

佐野 晋平 著

日経 B P 社

いい大学を出ると給料は高いのか。なぜ教員不足が生じているのか。ゆとり教育の効果は-。経験や勘で語られがちな学校教育にまつわる疑問を考察するための枠組みを、教育経済学の知見に基づき紹介する。

毎日新聞 2024/02/17

2024:1./ 267p
978-4-296-11924-0

¥1,320〔税込〕



経営～稲盛和夫、原点を語る～

稲盛ライブラリー+ダイヤモンド社「稲盛和夫経営講演選集」共同チーム 編

ダイヤモンド社

京セラ創業、KDDI 躍進、JAL 再建…。稀代の名経営者・稲盛和夫の原理原則とは？1970 年代～2010 年代の講演録から稲盛経営論の原点ともいべき中核的な講演を抽出した選集。ブックガイド、折り込み年表付き。

毎日新聞 2024/02/17

2023:11./ 19p,688p
978-4-478-11847-4

¥2,860〔税込〕





ブツダという男～初期仏典を読みとく～(ちくま新書 1763)

清水 俊史 著
筑摩書房

ブツダは本当に差別を否定し万人の平等を唱えた平和主義者だったのか。ブツダの真の偉大さはどこにあるのか。これまでのブツダ理解を批判的に検証し、初期仏典を丹念に読みとくことでその先駆性を導き出す革新的ブツダ論。

毎日新聞 2024/02/17

2023:12./ 221p
978-4-480-07594-9

¥968 [税込]



北朝天皇研究の最前線

遠藤 珠紀／水野 智之 編
山川出版社

現在の天皇家へ続く皇統にもかかわらず、北朝天皇はなぜ影が薄いのか？ 歴代8人の北朝天皇の動向から、100年をゆうに超える北朝天皇の時代を捉えなおし、その政治的役割や存在意義を新たに探る。

毎日新聞 2024/02/17

2023:11./ 287p
978-4-634-15240-3

¥1,980 [税込]



何が歴史を動かしたのか<第3巻> 古墳・モニュメントと歴史考古学

春成秀爾 編
雄山閣

いま、人類の歴史はどこまでわかったのか。第3巻は、「箸墓古墳築造の意義」「前方後円墳の終焉」「日本列島先史・古代の戦争」など、古墳・モニュメントと歴史考古学に関する論文を収録する。

毎日新聞 2024/02/17

2023:12./ 320p
978-4-639-02956-4

¥7,040 [税込]



黙々～聞かれなかった声とともに歩く哲学～

高 秉権 著
明石書店

障害者、難民、性的マイノリティ、生活保護受給者…。現代韓国社会の問題を現場から見つめる哲学者が、世間の「正しさ」と「当たり前」の裏側にある欺瞞と差別意識をとき明かし、希望と絶望の間で生き抜くヒントを与える。

毎日新聞 2024/02/17

2023:11./ 250p
978-4-7503-5654-9

¥2,860 [税込]



身の維新

田中 聡 著
亜紀書房

幕末の動乱のなか、医師たちはその時々々の情勢、自らの信じるものために闘った。「幕府側=漢方」「新政府=西洋医学」という単純な対立では語れない、幕末の和方医、漢方医、蘭方医の群像を描く歴史ノンフィクション。

毎日新聞 2024/02/17

2023:11./ 223p
978-4-7505-1820-6

¥2,530 [税込]





ナゾの“境界駅”探訪～なぜそこで隔てられるのか?～

鼠入昌史 著
イカロス出版

JR 西日本と JR 東海の境界「米原」、しなの鉄道と JR 東日本の境界「篠ノ井」、神奈川県と東京都の境界「町田」...。鉄道会社間の境界や、電化・非電化、運転系統の境界、都道府県境の駅を、周辺の見どころとともに紹介。

毎日新聞 2024/02/17

2023:12./ 247p
978-4-8022-1364-6

¥1,980〔税込〕



偶発的ルネッサンス少女(SONORAMA+COMICS)

さわぐちけいすけ 著
朝日新聞出版

実物以上にキレイに撮れた写真を「奇跡の一枚」というが、これはルネッサンス絵画並みの「奇跡の一瞬」を起こしまくる少女と、それにみせられた少年の物語。アート大好き漫画家が贈る、芸術青春エンタ!

毎日新聞 2024/02/24

2024:1./ 210p
978-4-02-214384-6

¥1,320〔税込〕



限界分譲地～繰り返される野放図な商法と開発秘話～(朝日新書 941)

吉川祐介 著
朝日新聞出版

全国に広がる放棄住宅。投機型分譲地、原野商法など、高度成長期からバブル期にかけて世を席卷した、杜撰な土地ビジネスがもたらした負の遺産の軌跡を辿り、現在の不動産バブルとの共有性を見出し、警鐘を鳴らす。

毎日新聞 2024/02/24

2024:1./ 238p
978-4-02-295252-3

¥957〔税込〕



錦繡 改版(新潮文庫)

宮本 輝 著
新潮社
毎日新聞 2024/02/24

2004:3./ 270p
978-4-10-130702-2

¥649〔税込〕



西行～歌と旅と人生～(新潮選書)

寺澤 行忠 著
新潮社

出家の背景、秀歌の創作秘話、漂泊の旅の意味、桜への熱愛、無常を乗り越えた「道」の思想、定家との意外な関係、芭蕉への影響...。西行歌集研究の第一人者が、偉才の知られざる素顔に迫る。

毎日新聞 2024/02/24

2024:1./ 230p
978-4-10-603905-8

¥1,760〔税込〕





おいしいふ〜せん

角野 栄子 著

N H K 出版

たんぼぼの汁に亡き母を思った子ども時代、弟と1個の卵を分け合った戦時下、バカヤローという魚に出合ったブラジル生活…。角野栄子による“食”をテーマにした絵日記。『NHK きょうの料理』連載に書き下ろしを加え書籍化。

毎日新聞 2024/02/24

2023:11./ 143p
978-4-14-005740-7

¥2,035 [税込]



近代日本の地下水脈〜哲学なき軍事国家の悲劇〜<1>(文春新書 1440)

保阪 正康 著

文藝春秋

なぜ日本は太平洋戦争を始め、敗戦に至ったのか。なぜ「玉砕」「特攻」といった無謀な作戦で多くの人命を失ってしまったのか。急造の帝国主義国家に内在する矛盾と歪み、地下水脈化した思想に着目し、その失敗の本質に迫る。

毎日新聞 2024/02/24

2024:1./ 254p
978-4-16-661440-0

¥1,056 [税込]



近代の呪い 増補(平凡社ライブラリー 958)

渡辺 京二 著

平凡社

近代化の帰結として人は何を失い、何に呪縛されるようになったのか。豊かさの背後に刻まれた呪いを自覚し、これから生きる術を考える。著者宿年のテーマを平易な言葉で綴った講義録。インタビューを加えた増補版。

毎日新聞 2024/02/24

2023:12./ 219p
978-4-582-76958-6

¥1,760 [税込]



ハマス・パレスチナ・イスラエル〜メディアが隠す事実〜(扶桑社新書 486)

飯山 陽 著

育鵬社

ハマスはパレスチナの代表ではない、ハマスは「テロ一択」のテロ組織…。日本のパレスチナとイスラエルに対する認識の誤りを明らかにし、世界を欺くイスラム過激派テロ組織ハマスの戦略を暴く。note 連載を加筆し書籍化。

毎日新聞 2024/02/24

2023:12./ 318p
978-4-594-09677-9

¥1,100 [税込]



戦史の余白〜三十年戦争から第二次大戦まで〜

大木 毅 著

作品社

三十年戦争、アメリカ独立戦争、ナポレオンのロシア遠征、山本五十六の知られざる秘話…。戦史・軍事史のさまざまな側面をからめ手から描き出したユニークな戦史。『コマンドマガジン』掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

毎日新聞 2024/02/24

2023:12./ 233p
978-4-86793-010-6

¥2,200 [税込]





新世界より

オカダキサラ 著
クラークエンラゴ

何気ない日常のなかにある偶然のかさなりから生じる、奇跡的な“瞬間”をとらえる写真家・オカダキサラの初の作品集。全 100 点の写真をもとに綴ったテキストとともに収録する。

毎日新聞 2024/02/24

2023:12./ 199p
978-4-910315-32-4

¥3,960 [税込]



9 7 8 4 9 1 0 3 1 5 3 2 4



規則より思いやりが大事な場所で～物理学者はいかに世界を見ているか～

カルロ・ロヴェッリ 著
NHK出版

理論物理学者ロヴェッリが、10年以上にわたりイタリアの新聞各紙に発表してきたコラムから、その思考の源泉に迫る作品を厳選。哲学や文学と科学の関係、異文化との交流など、常識を問い直す全 52 篇を収録。

毎日新聞 2024/02/24、産経新聞 2024/02/25

2023:12./ 316p
978-4-14-081951-7

¥2,200 [税込]



9 7 8 4 1 4 0 8 1 9 5 1 7